

北陸の米生産を知る

平成の米

富山県

From 1989
to 2018

北陸農政局統計部



富山県砺波市

北陸農政局ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【<https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/>】

令和2年8月

農林水産省

概要編

1	水稻収穫量の推移（富山県）平成元年産～30年産	1
2	水稻の作柄概況（富山県）平成元年産～30年産	2
3	農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある 農業経営体数と作付面積規模別割合（富山県）	32
4-1	米の経済状況（生産コストと収益）の推移（富山県）	33
4-2	米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益） の比較（全国）	34
5	米の産出額の推移（富山県）	35

作柄表示地帯とは、地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、県内を水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割したものである。

作柄表示区分		所属する県及び市町村名（令和2年3月31日現在）
全国農業地域	北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
区分	作柄表示地帯	包 括 市 町 村
富山県内の水稻の作柄表示地帯	東 部	富山市、魚津市、滑川市、黒部市、上市町、立山町、入善町、朝日町、舟橋村
	西 部	高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市

注：平成24年産より富山県内の水稻の作柄表示地帯の区域設定はなくなった。

用語の解説

田植最盛期、出穂最盛期及び刈取最盛期

田植え、出穂済みの面積割合及び刈取済面積割合がそれぞれ50%に達した期日である。

作柄の表示区分

「良」が平年対比106%以上、「やや良」が同105~102%、「平年並み」が同101~99%、「やや不良」が同98~95%、「不良」が同94%以下である。

「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分

「多い（良）」が平年対比106%以上、「やや多い（やや良）」が同105~102%、「平年並み」が同101~99%、「やや少ない（やや不良）」が同98~95%、「少ない（不良）」が同94%以下である。

作況指数

作柄の良否を表す指標のことをいい、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量（又は予想収量）の比率をいう。
 なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北陸は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

全算入生産費
 （資本利子・地代全額算入生産費）

米の生産に要した材料、土地改良及び水利費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、固定資産の減価償却費、労働費の費用合計から副産物価額を控除し、支払利子、支払地代、自己資本利子及び自作地地代を加算した額である。

【参考】富山県市町村区分図



富山



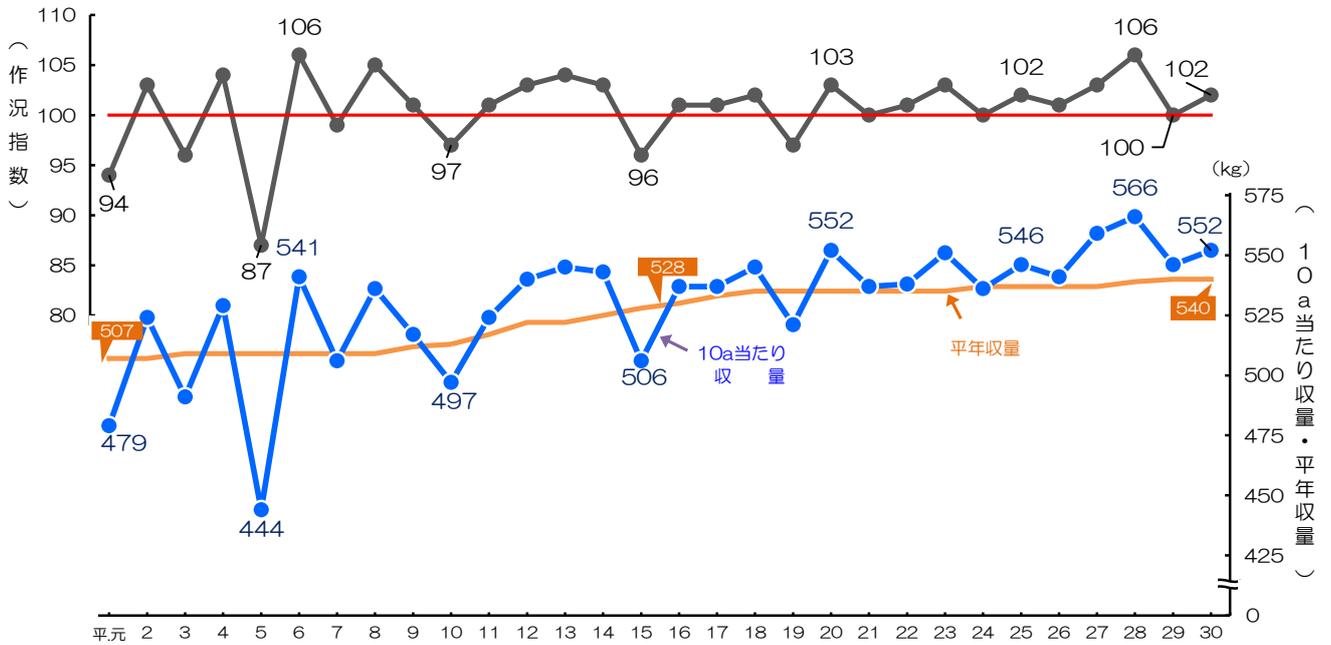
作柄表示地帯【富山】

市町村界

1 水稻収穫量の推移(富山県)

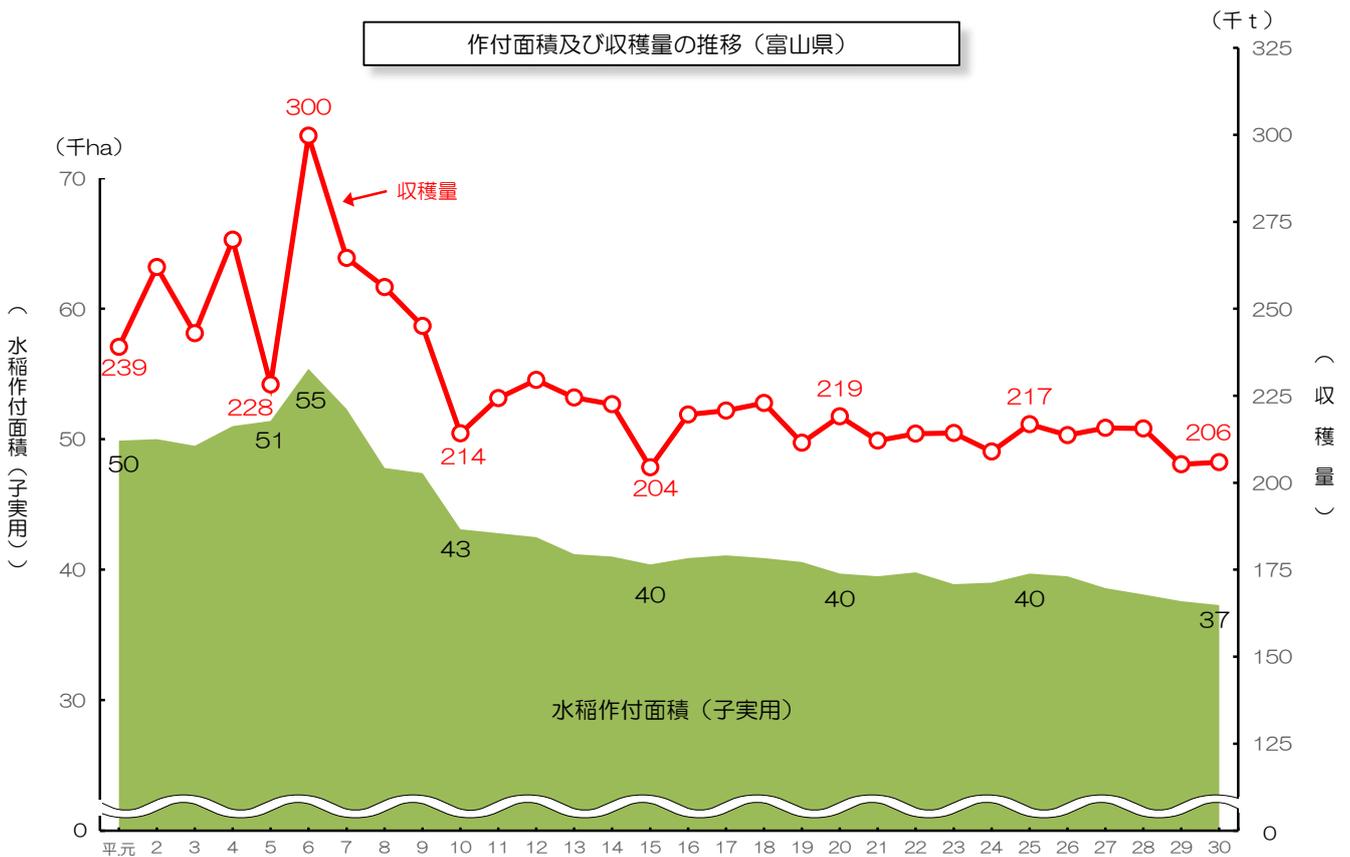
平成元年産からの水稻生産の推移

作況指数、10a当たり収量及び平年収量の推移(富山県)



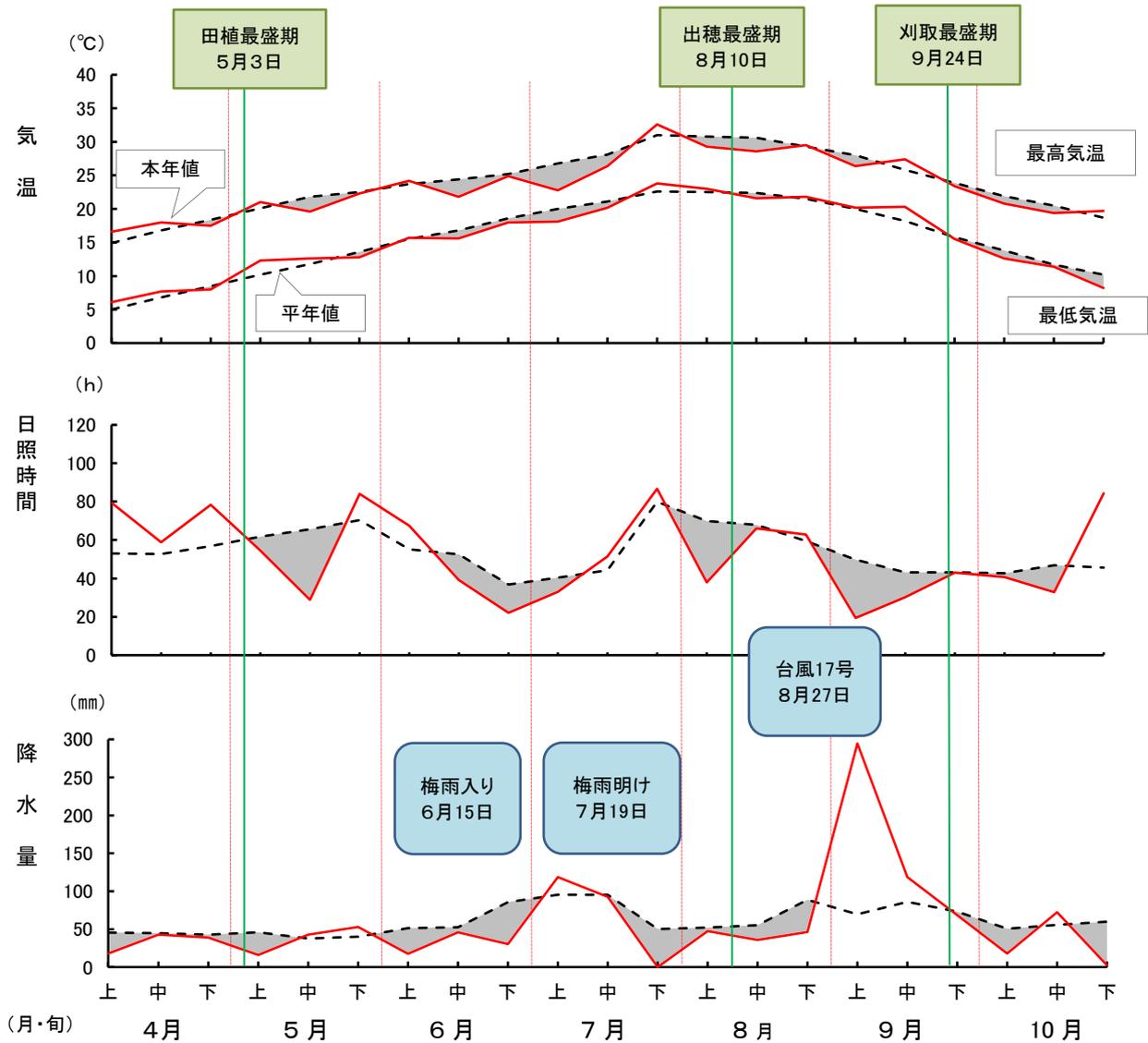
注：平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。

作付面積及び収穫量の推移(富山県)



資料：農林水産省「作物統計」

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



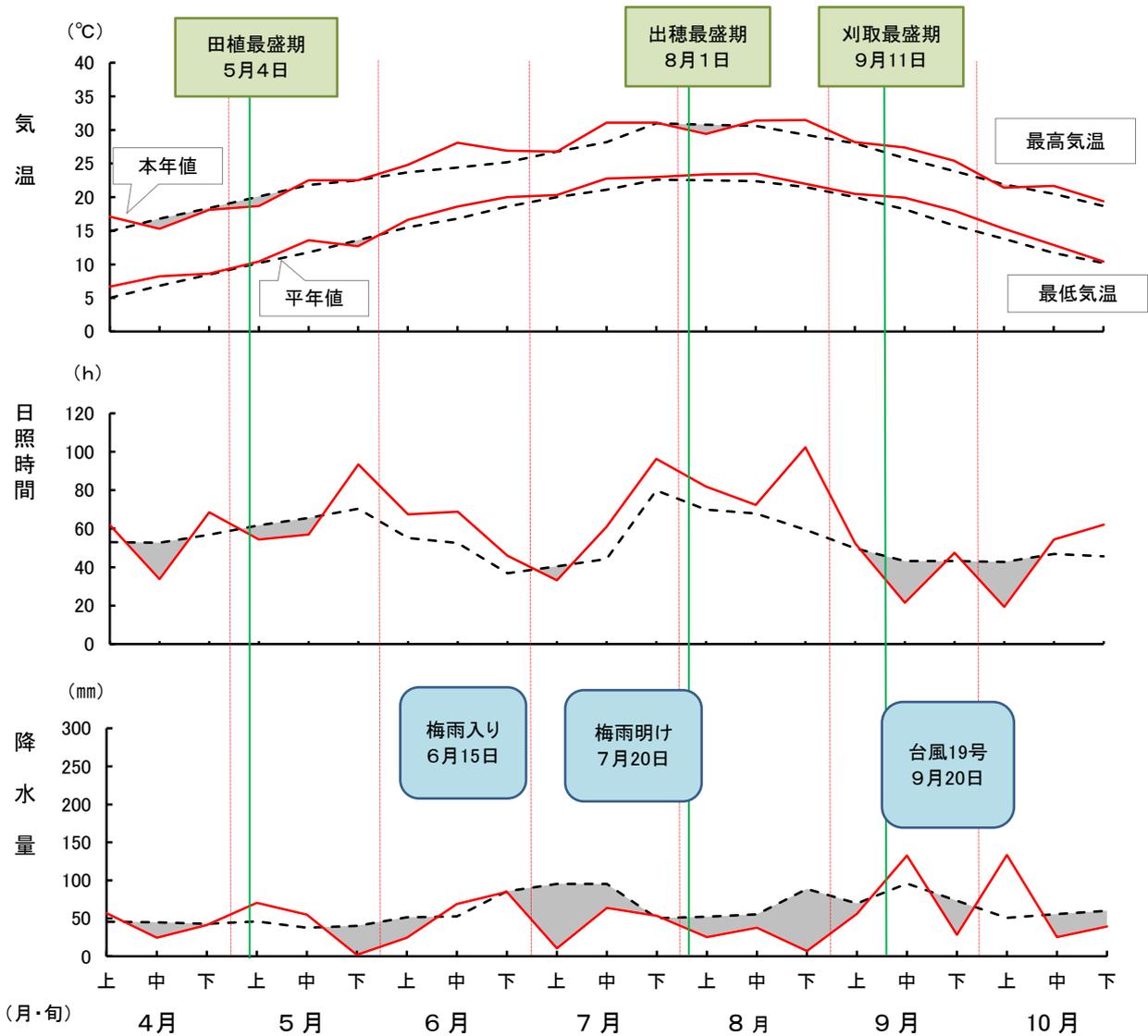
指標	作付面積(子実用) ha	10a当たり収量 kg	収穫量 t	政府買入価格 (60kg当たり)単価 円
富山	49,900	479	239,000	16,743
東部	25,900	474	122,800	
西部	24,000	484	116,200	

注: 政府買入価格(生産者手取価格)は、うち1~5類・1~2等の平均包装込価格である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	100	98	94	94
東部	100	98	94	94
西部	100	98	95	95

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
富山	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
穂数は5月中旬及び6月中旬以降の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多く、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は台風17号以降の長雨による倒伏と日照不足によりやや不良となったことから、作柄は作況指数94となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



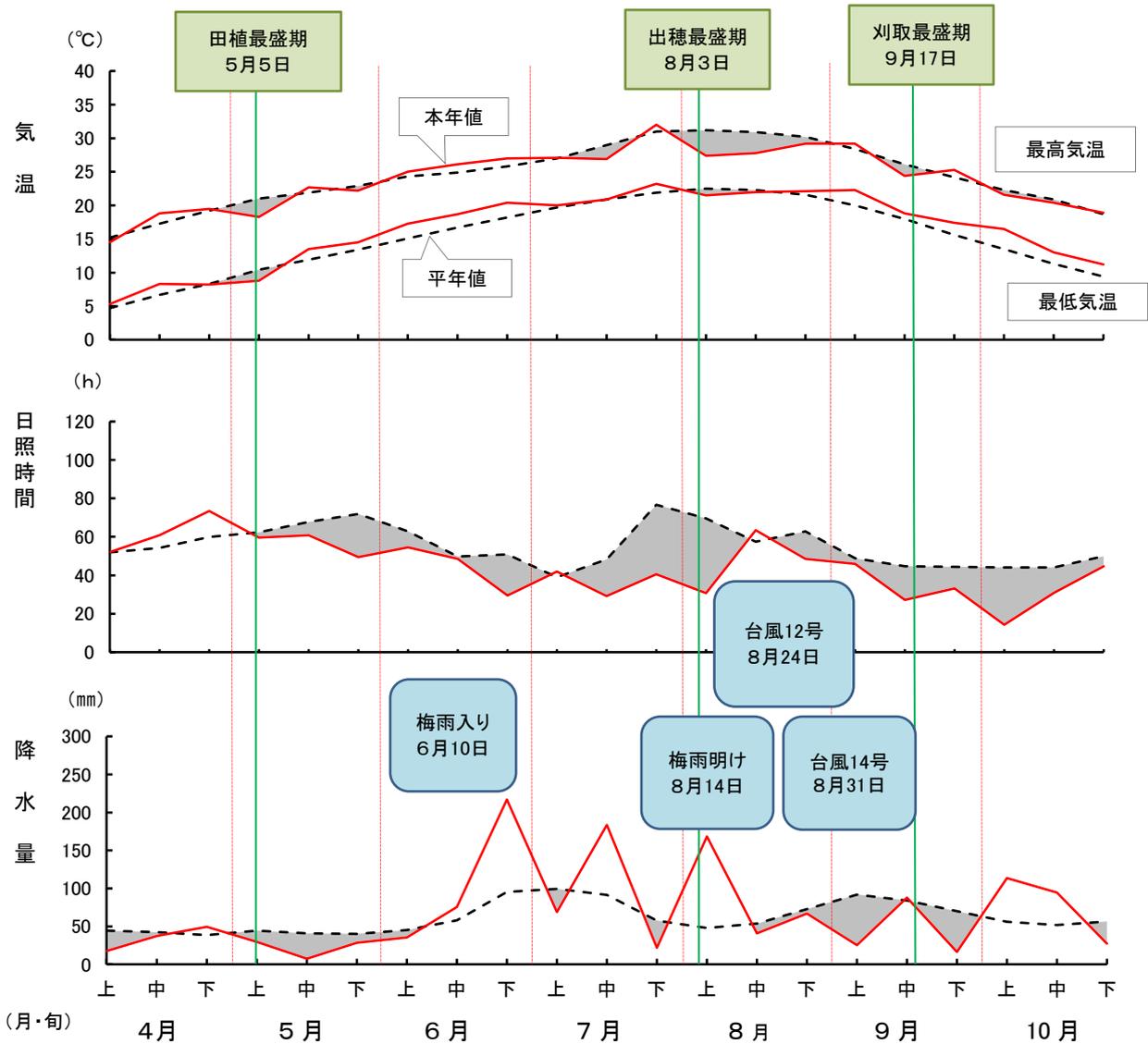
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ(60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	50,000	524	262,000	22,484
東部	26,100	522	136,500	
西部	23,800	527	125,500	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	101	103	103	103
東部	101	103	103	103
西部	101	104	104	104

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
富山	やや少ない	やや多い	やや少ない	良
穂数は6月中旬の高温により分けつのが早まりやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の天候に恵まれたことから良となり、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



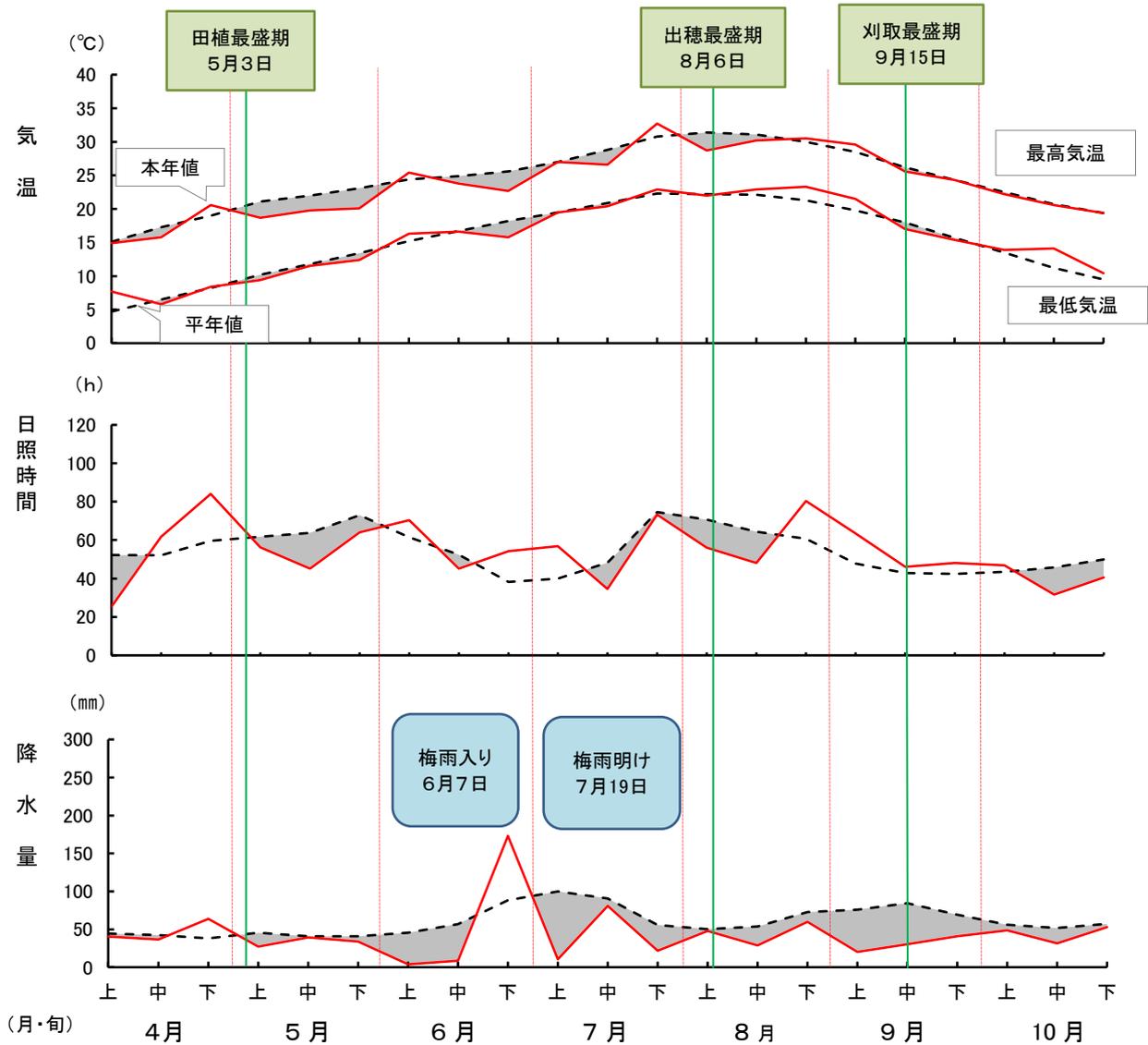
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	49,500	491	243,000	23,245
東部	25,900	489	126,800	
西部	23,600	492	116,200	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	95	96	96
東部	95	96	96	96
西部	95	96	96	96

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	少ない	平年並み	少ない
穂数は田植期の低温による生育の遅れや6月中旬の高温により分けつ切り上がりが早まり少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は少なかった。 登熟は大幅に遅れた梅雨明けの影響はあったものの、全もみ数が少なかったことからやや良となり、作柄は作況指数96となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



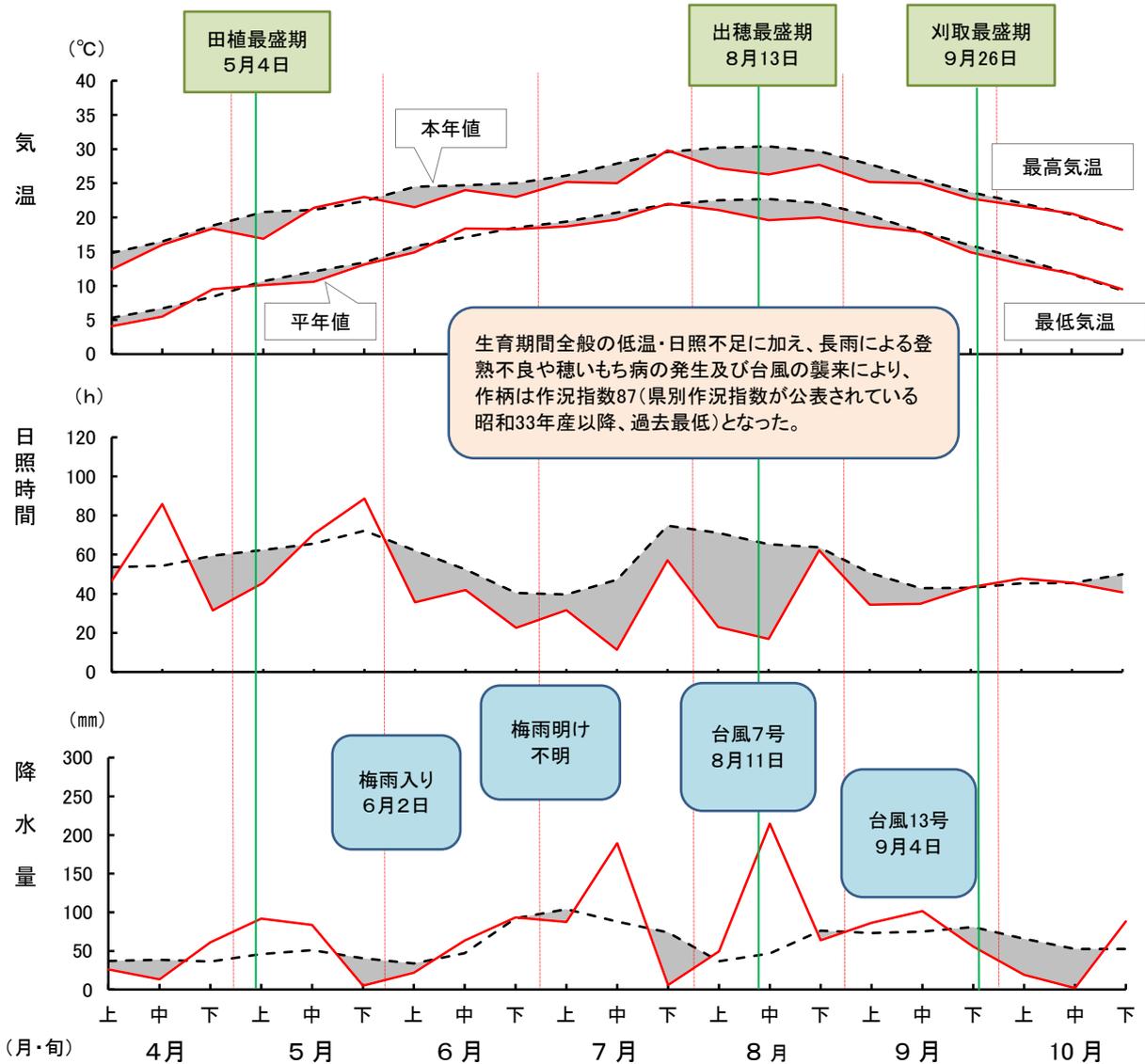
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	51,000	529	269,800	22,642
東部	26,700	529	140,900	
西部	24,300	530	128,900	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	101	103	104
東部	101	103	104	104
西部	101	103	104	104

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月下旬以降の好天によりやや良となったことから、作柄は作況指数104となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



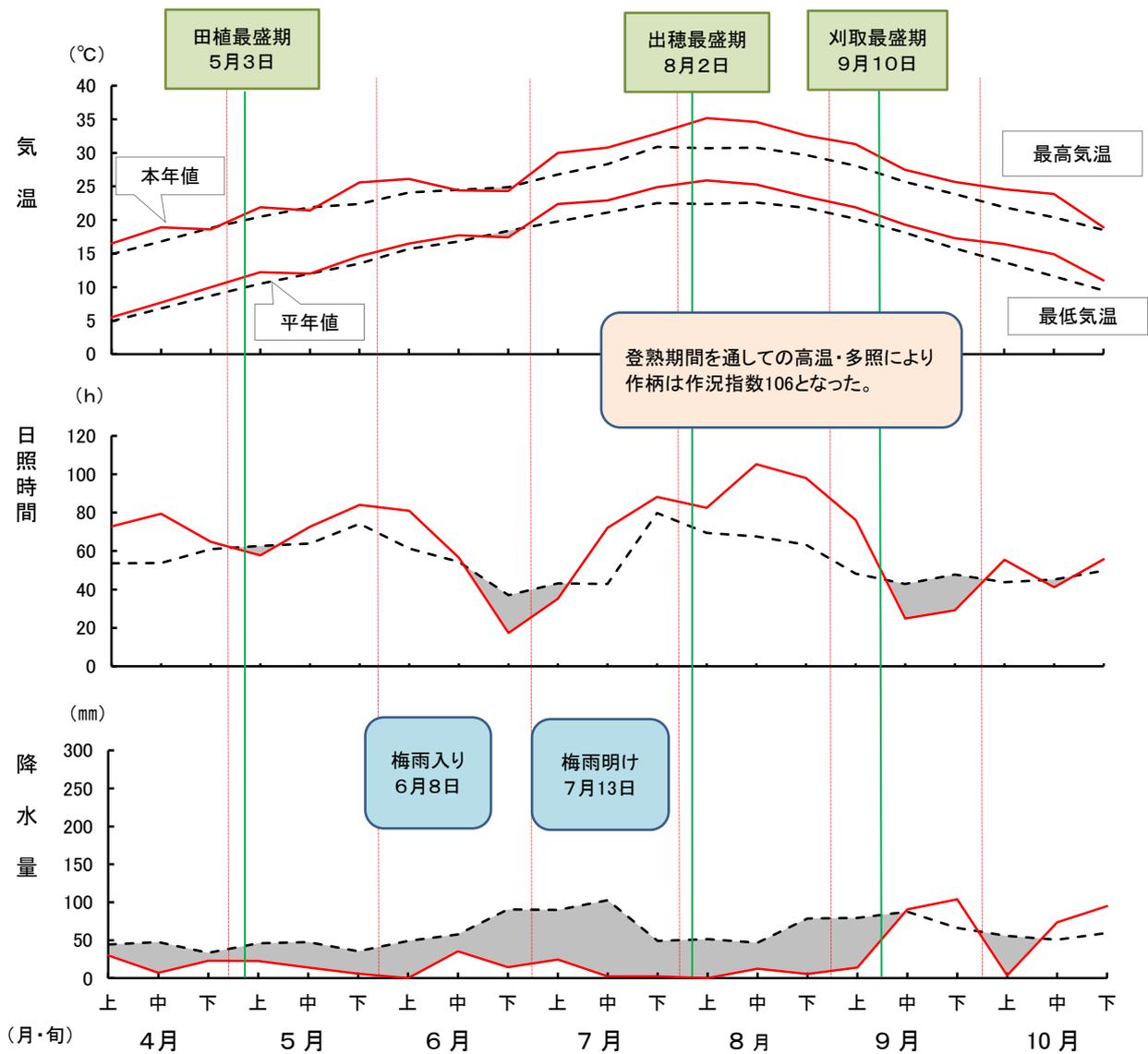
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ(60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	51,400	444	228,200	23,944
東部	26,900	449	120,800	
西部	24,500	438	107,400	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	96	91	87	87
東部	96	91	89	89
西部	96	91	86	86

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	やや少ない	平年並み	やや少ない	不良
	穂数は6月以降の低温・日照不足によりやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや少なくなった。登熟は出穂期の大幅な遅れ、生育期間全般の低温・日照不足、台風による白穂・倒伏被害や穂もち病の多発により不良となったことから、作柄は作況指数87となった。			

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



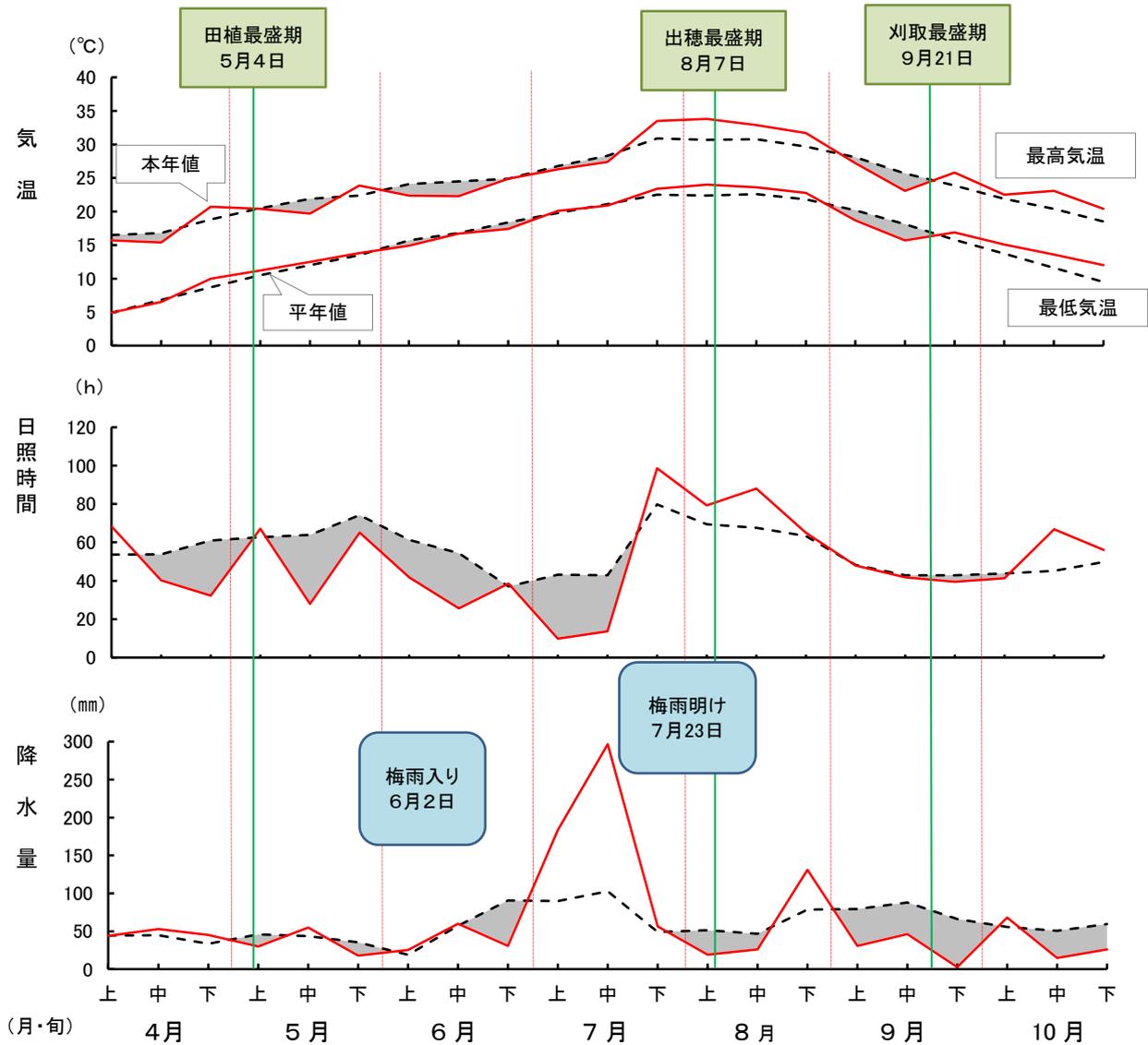
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	55,400	541	299,700	22,411
東部	28,700	543	156,000	
西部	26,600	539	143,500	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	103	106	106
東部	103	107	107	107
西部	103	105	105	105

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高温・多照で経過したことから良となり、作柄は作況指数106となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



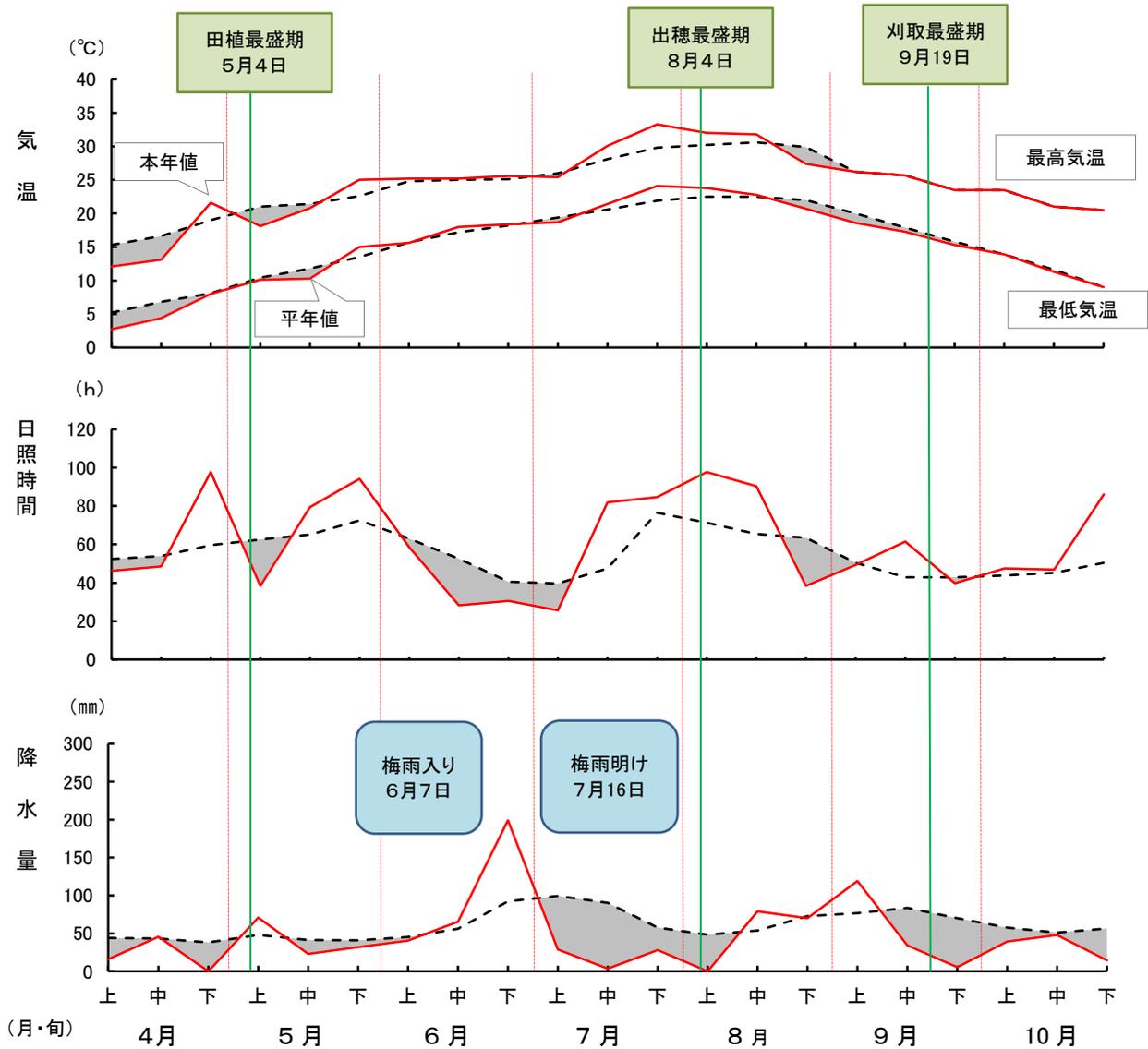
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	52,300	506	264,600	21,546
東部	27,300	508	138,800	
西部	25,000	504	126,300	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	97	99	99
東部	98	100	100	100
西部	96	99	99	99

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	少ない	平年並み	少ない
穂数は田植後の日照不足により少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は少なくなった。 登熟は8月の高温・多照により良となったものの、全もみ数が少なかったことから、作柄は作況指数99となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



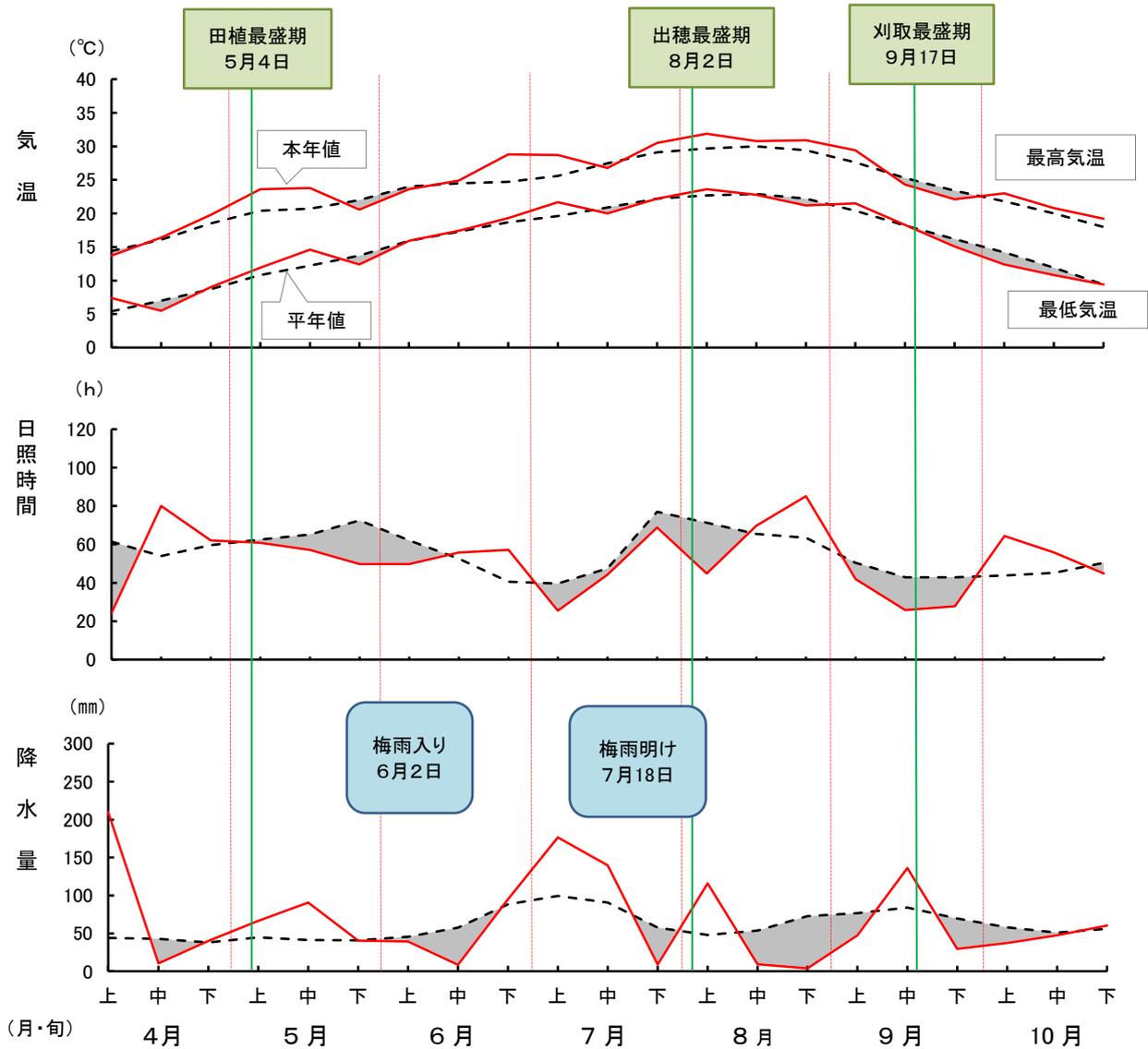
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	47,800	536	256,200	21,582
東部	25,000	535	133,500	
西部	22,800	539	122,700	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	102	104	105
東部	102	104	105	105
西部	101	105	106	106

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み 穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数は7月中旬からの高温・多照によりやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂後がおおむね多照で経過したことからやや良となり、作柄は作況指数105となった。	やや多い	やや多い

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



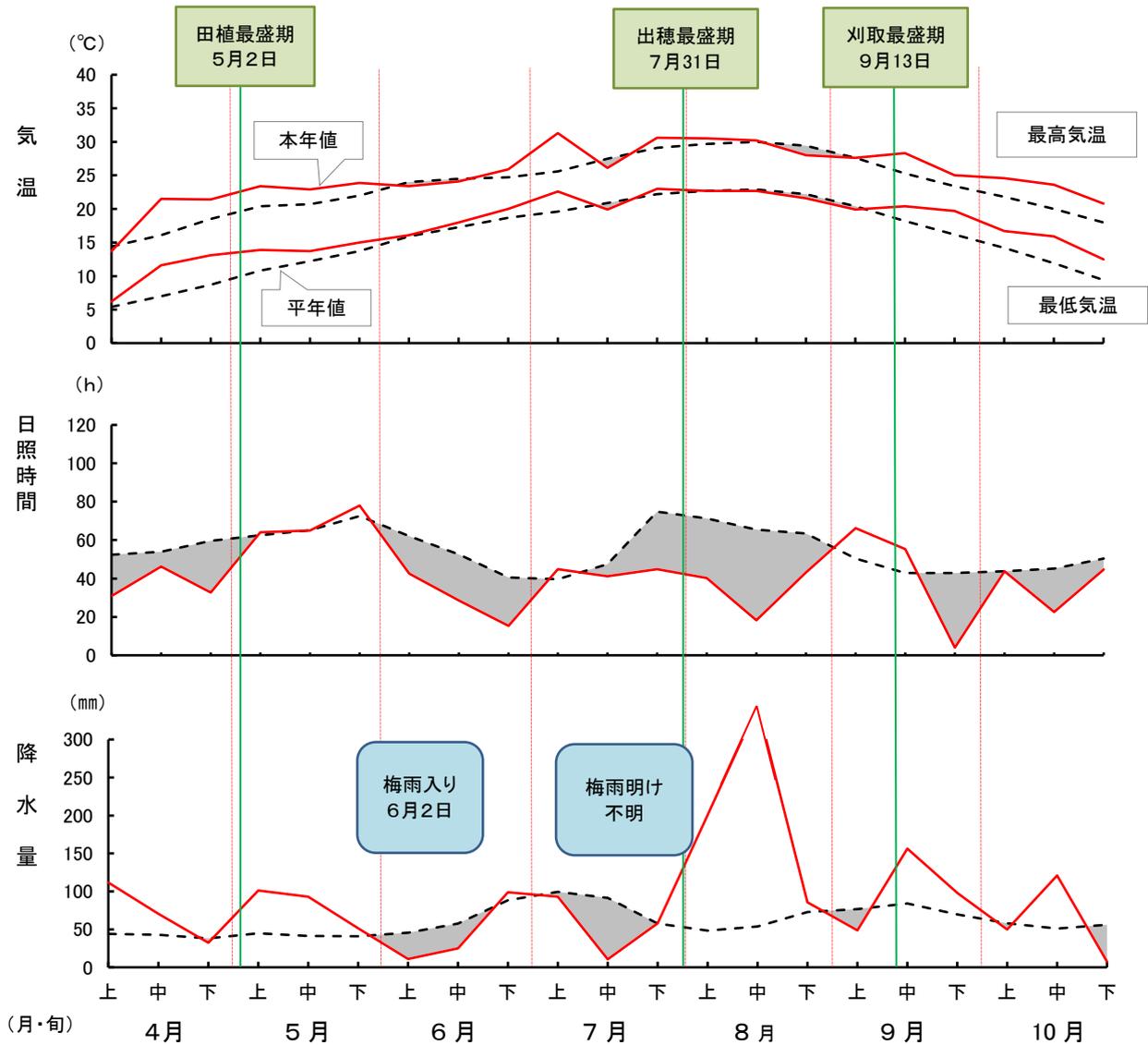
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	47,400	517	245,100	18,692
東部	24,700	519	128,200	
西部	22,700	515	116,900	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	101	101	101
東部	101	101	101	101
西部	101	101	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み	やや少ない	やや少ない
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数は7月の日照不足・多雨によりやや少なくなったことから、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は8月中・下旬が高温・多照で経過したことからやや良となり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



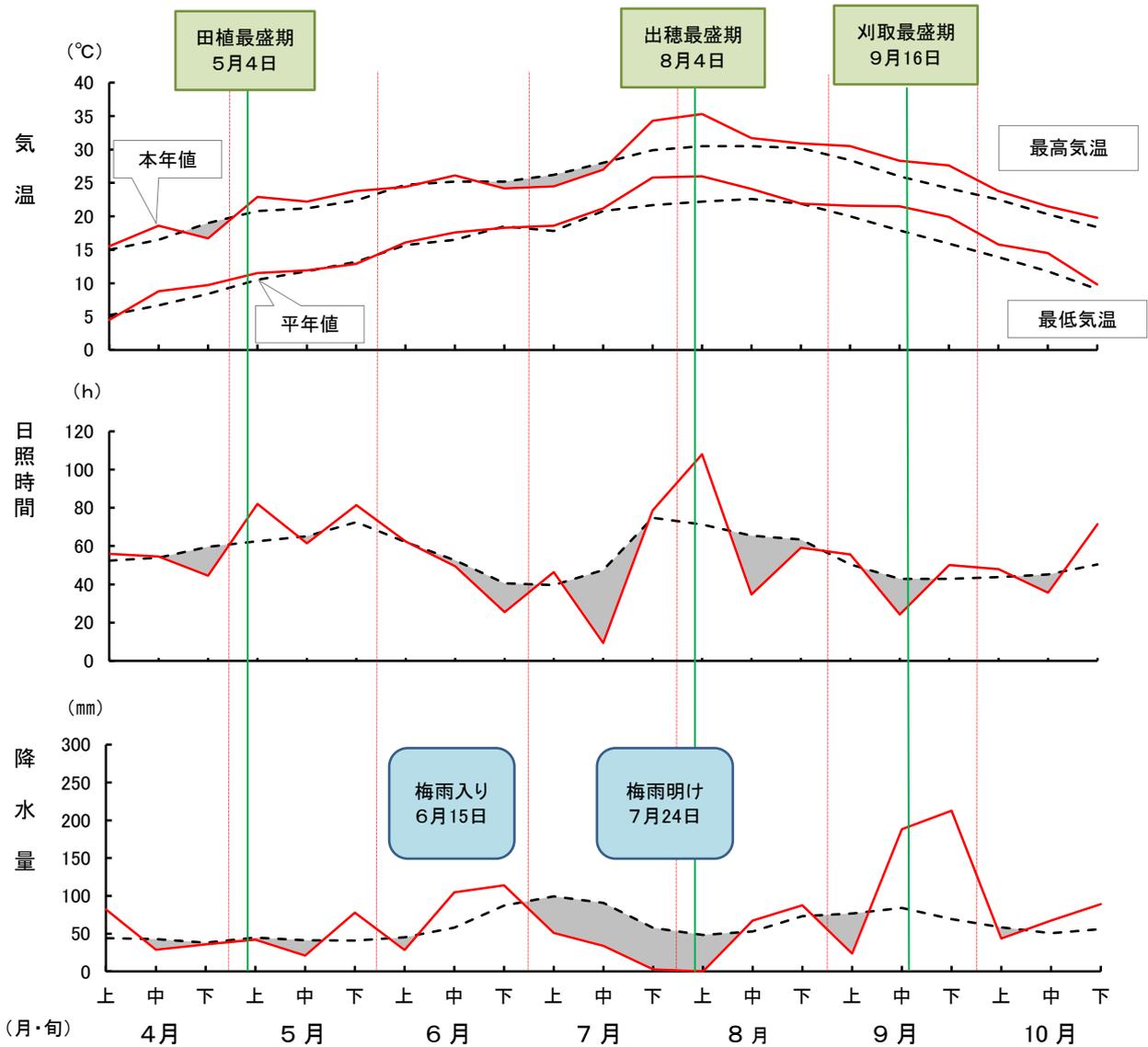
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	43,100	497	214,200	20,379
東部	22,400	501	112,400	
西部	20,700	492	101,800	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	96	97	97
東部	97	98	98	98
西部	95	96	96	96

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	やや少ない	平年並み	平年並み
穂数は6月の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の日照不足・多雨によりやや不良となったことから、作柄は作況指数97となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



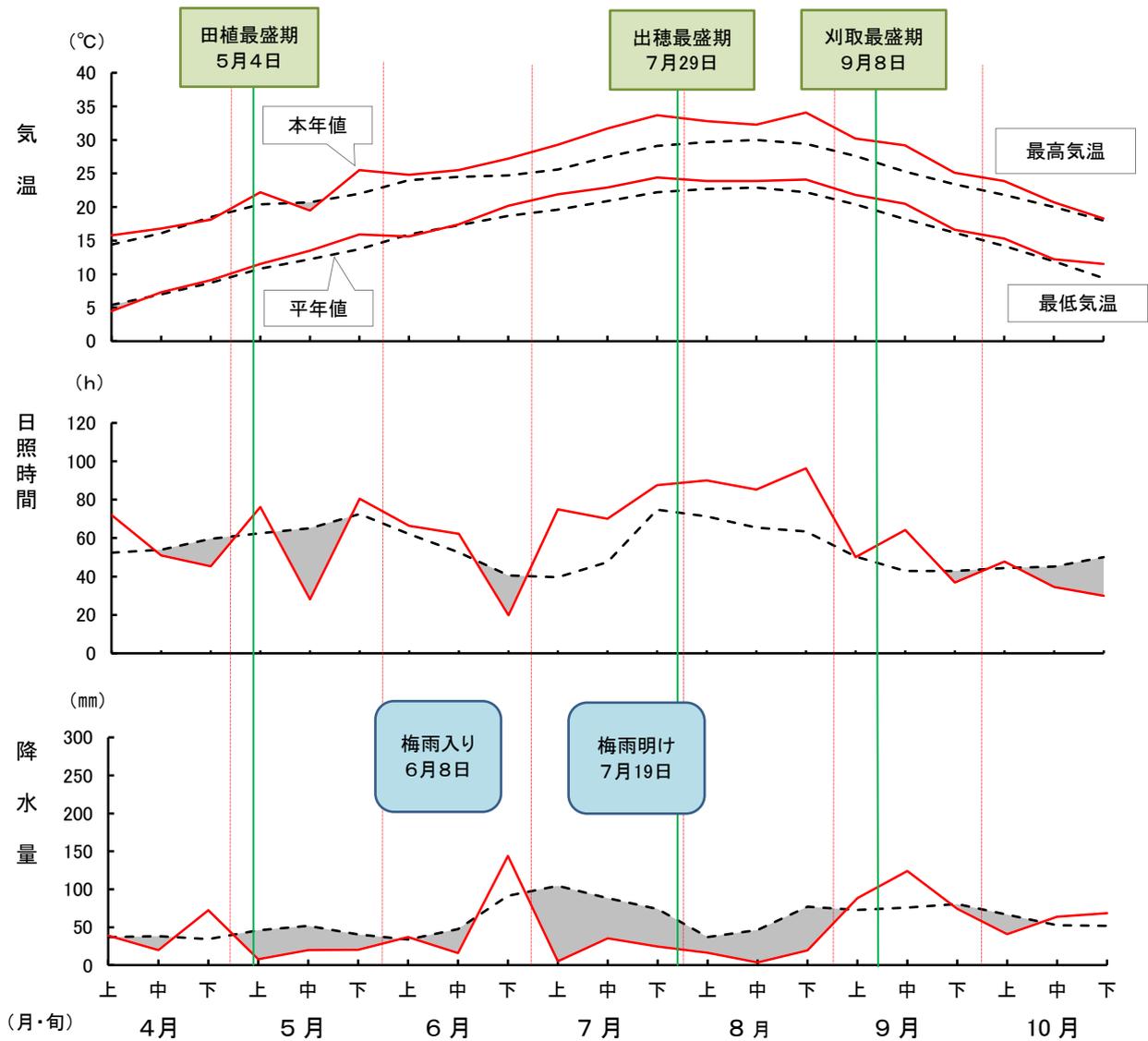
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	42,800	524	224,300	17,941
東部	22,300	521	116,100	
西部	20,500	528	108,200	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	103	102	101
東部	104	101	101	101
西部	103	102	102	102

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	富山	やや多い	やや少ない	やや多い
穂数は田植後の高温・多照によりやや多く、1穂当たりもみ数はやや少なくなったものの、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



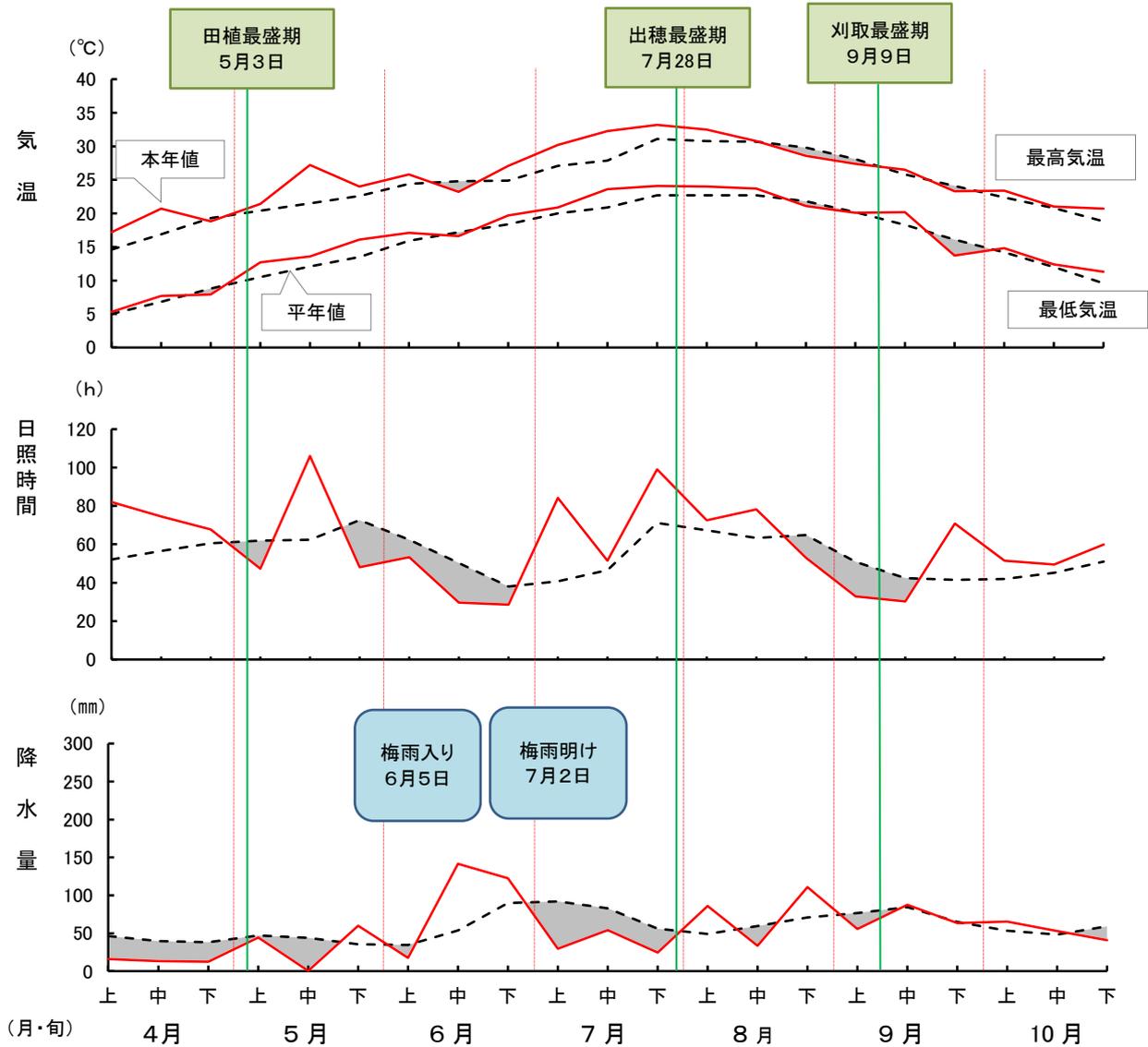
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	42,500	540	229,500	16,941
東部	22,100	542	119,800	
西部	20,400	538	109,700	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	平年並み	103	103
東部	やや良	104	104	104
西部	平年並み	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高温・多照・少雨によりやや良となったことから、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



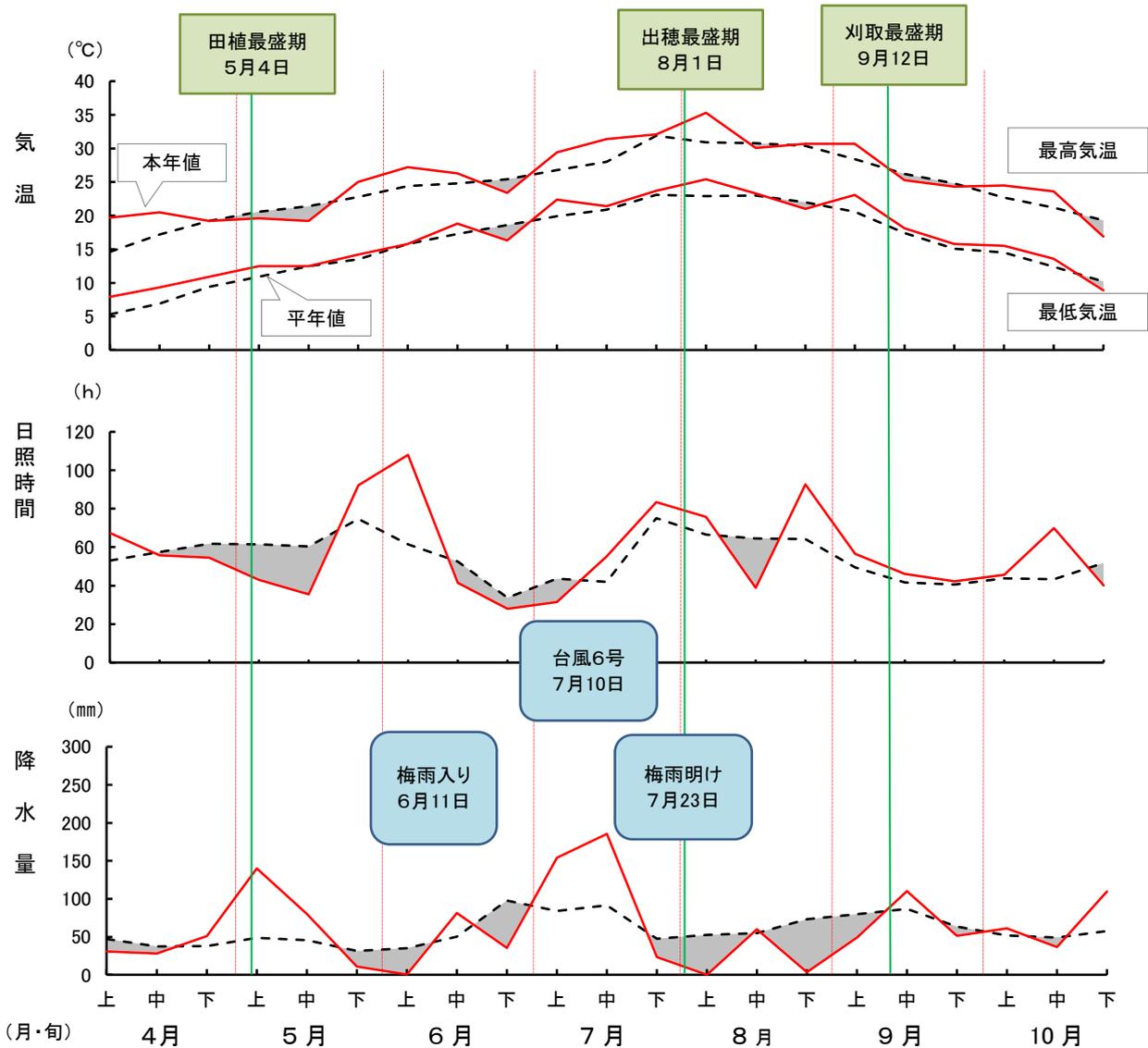
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	41,200	545	224,500	17,263
東部	21,400	542	116,000	
西部	19,800	548	108,500	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	やや良	104	104
東部	やや良	104	104	104
西部	やや良	105	105	105

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	多い	やや少ない	やや多い
穂数は5月が高温で経過したことにより多くなったものの、1穂当たりもみ数はやや少なく、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数104となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



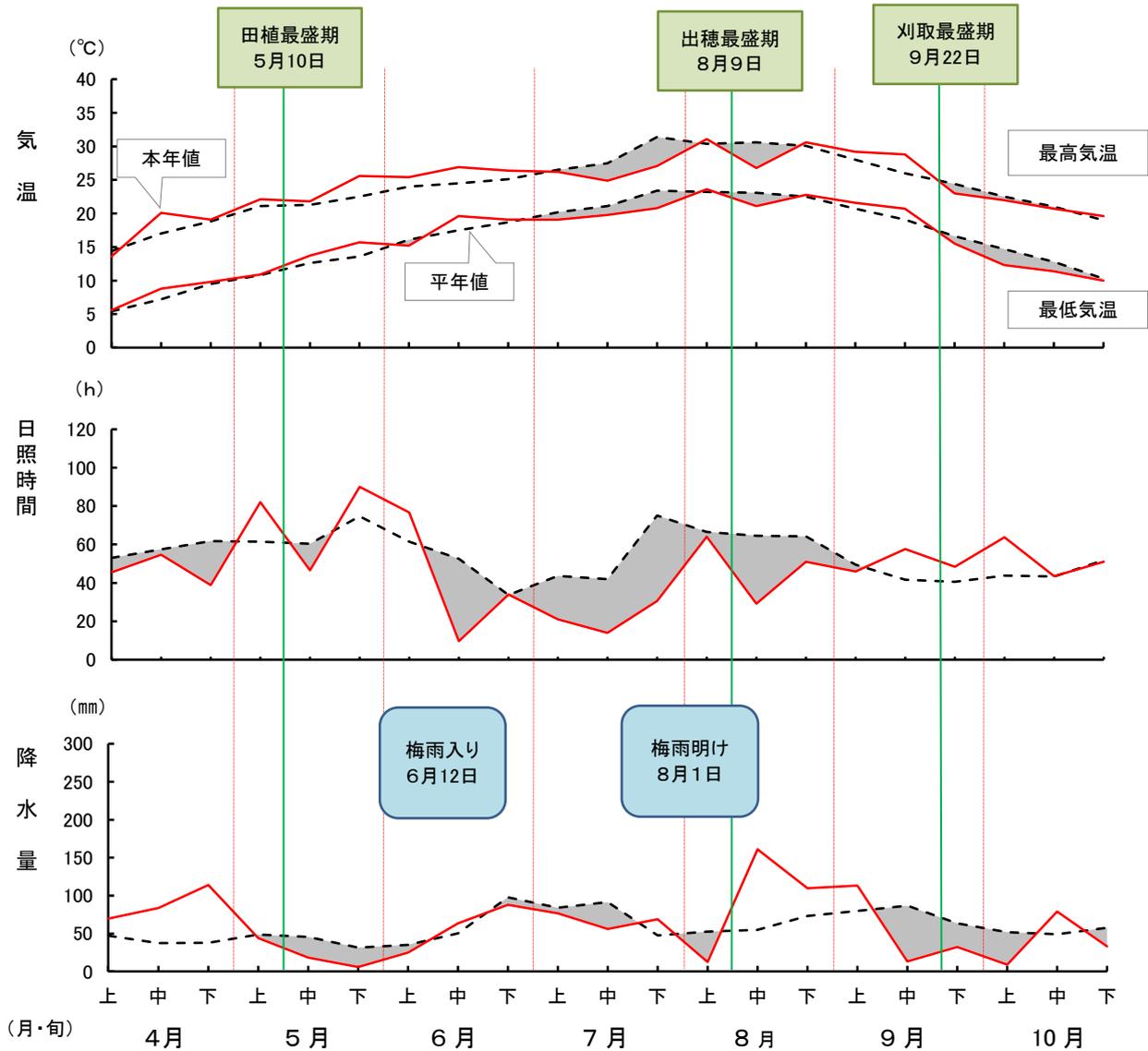
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	41,000	543	222,600	17,179
東部	21,300	540	115,000	
西部	19,700	547	107,700	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	やや良	103	103
東部	やや良	103	103	103
西部	やや良	104	104	104

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	やや多い	やや少ない	平年並み
穂数は5月下旬から6月上旬の高温・多照によりやや多くなったものの、1穂当たりもみ数がやや少なく、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月下旬以降の高温・多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



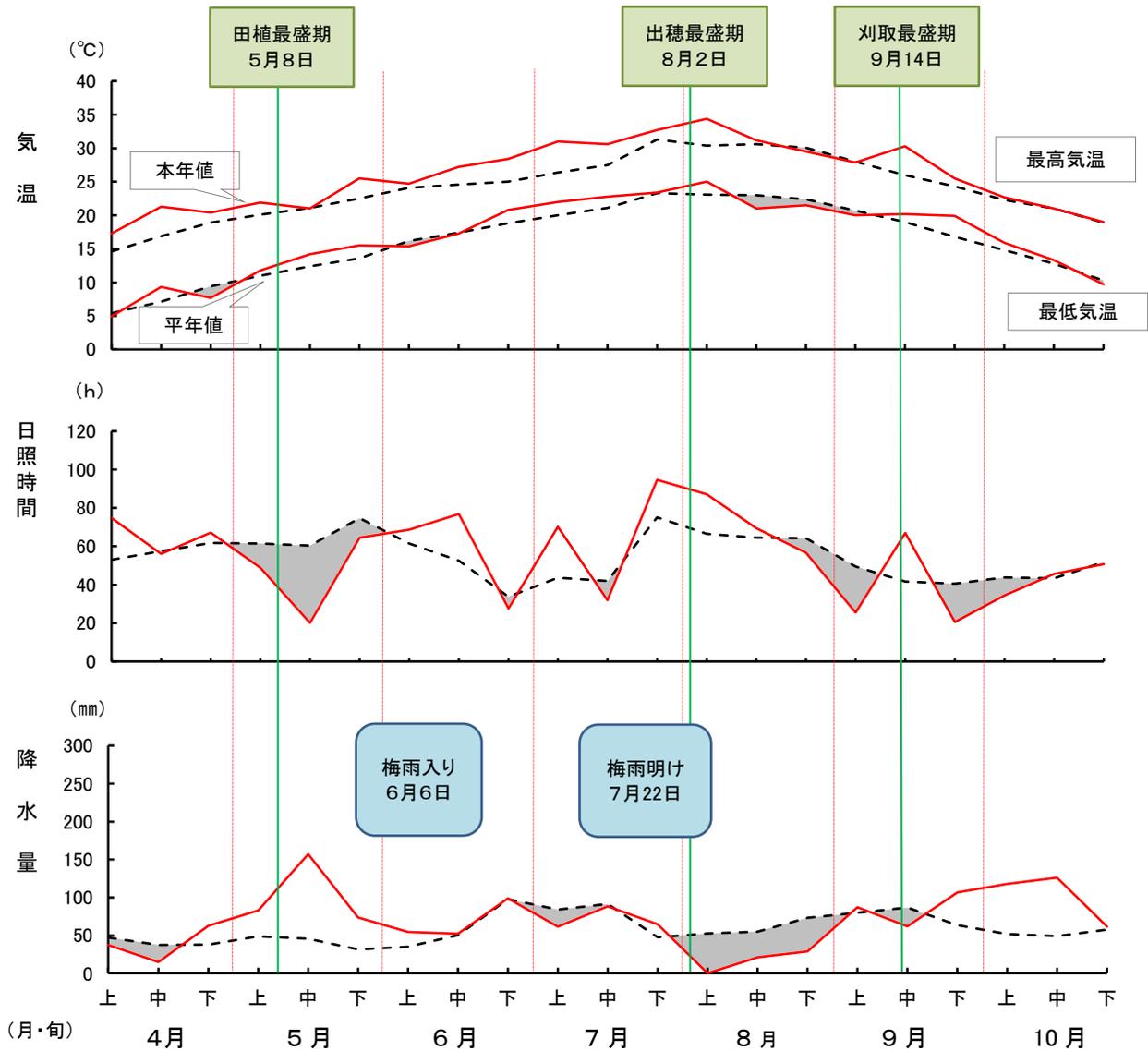
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	富山	40,400	506	204,400	22,199
	東部	21,000	503	105,700	
	西部	19,400	509	98,700	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		富山	やや不良	96	96
作況指数	東部	やや不良	95	95	95
	西部	やや不良	96	96	96

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		富山	やや少ない	やや多い	やや多い
穂数は6月中旬の日照不足等によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂後の低温・日照不足に加え、長雨による倒伏や穂いもち病の発生により不良となったことから、作柄は作況指数96となった。					

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



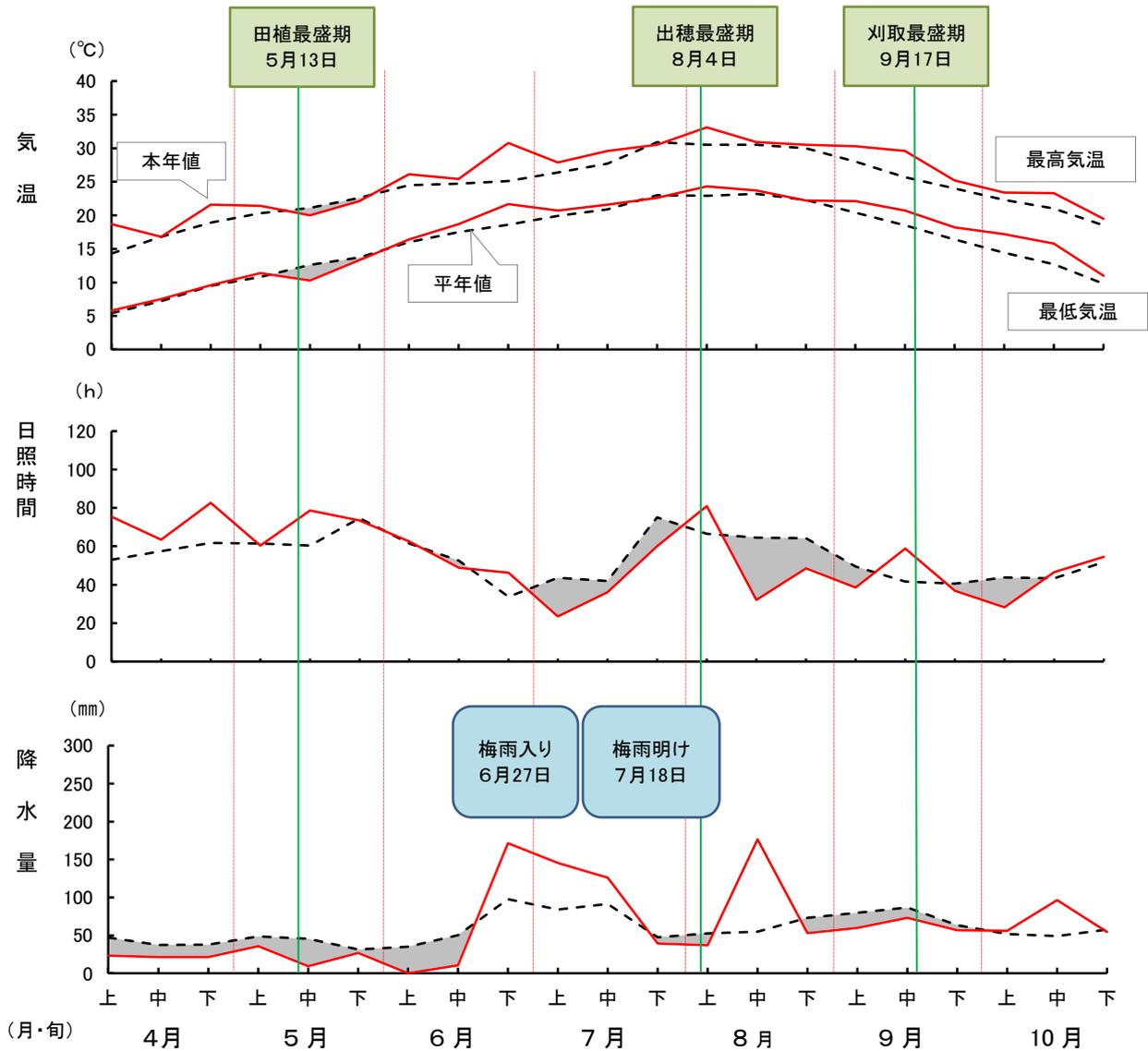
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	40,900	537	219,600	16,894
東部	21,300	536	114,200	
西部	19,600	538	105,400	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月10日	10月15日	収穫期
	富山	101	101	101
東部	101	101	101	101
西部	101	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は田植後の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の天候に恵まれたことからやや良となったものの、全もみ数が平年並みであったことから、作柄は作況指数101となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



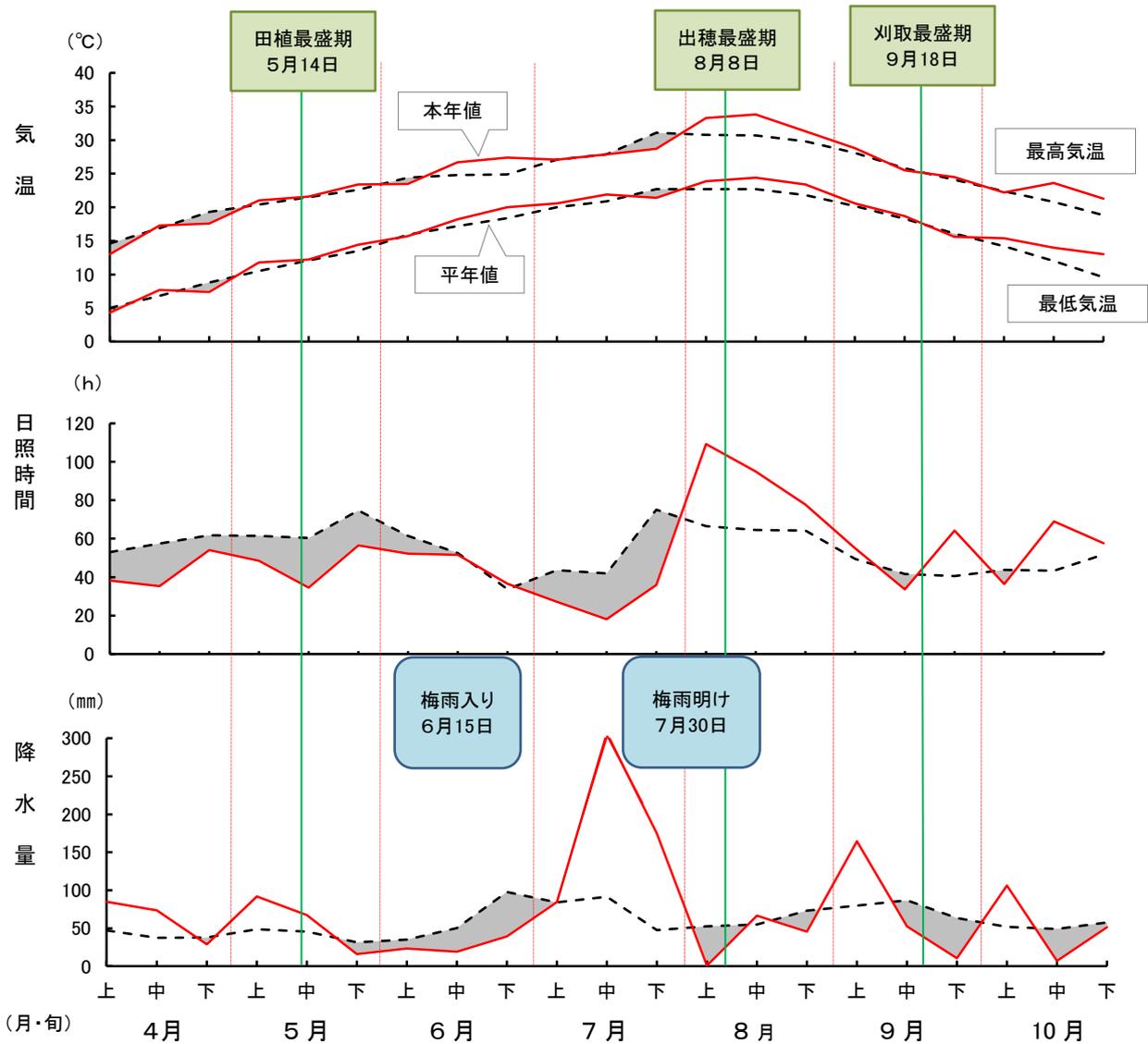
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	41,100	537	220,700	16,202
東部	21,400	535	114,500	
西部	19,700	539	106,200	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	101	101	101
東部	平年並み	101	101	101
西部	平年並み	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	少ない	多い	平年並み	やや良
富山	穂数は疎植指導から植付株数の減少により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期の好天と期間を通して気温が平年を上回り、気温日較差が大きかったことからやや良となったものの、全もみ数が平年並みであったことから作柄は作況指数101となった。			

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



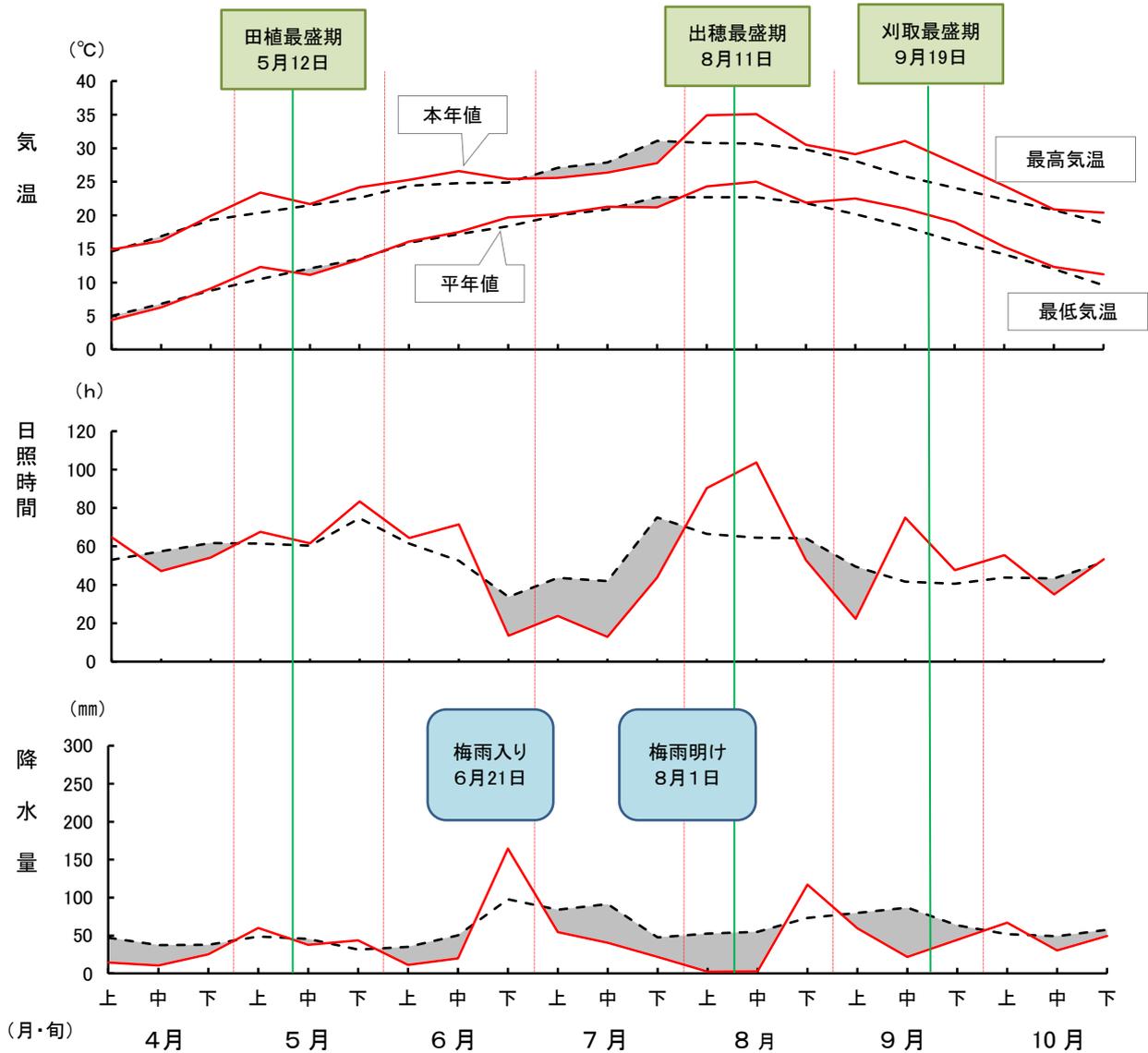
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	40,900	545	222,900	15,500
東部	21,300	540	115,000	
西部	19,600	550	107,900	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	102	102	102
東部	平年並み	101	101	101
西部	平年並み	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	少ない	多い	平年並み	やや良
富山	穂数は疎植指導から植付株数の減少及び田植後の日照不足により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月から9月上旬の高温・多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数102となった。			

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



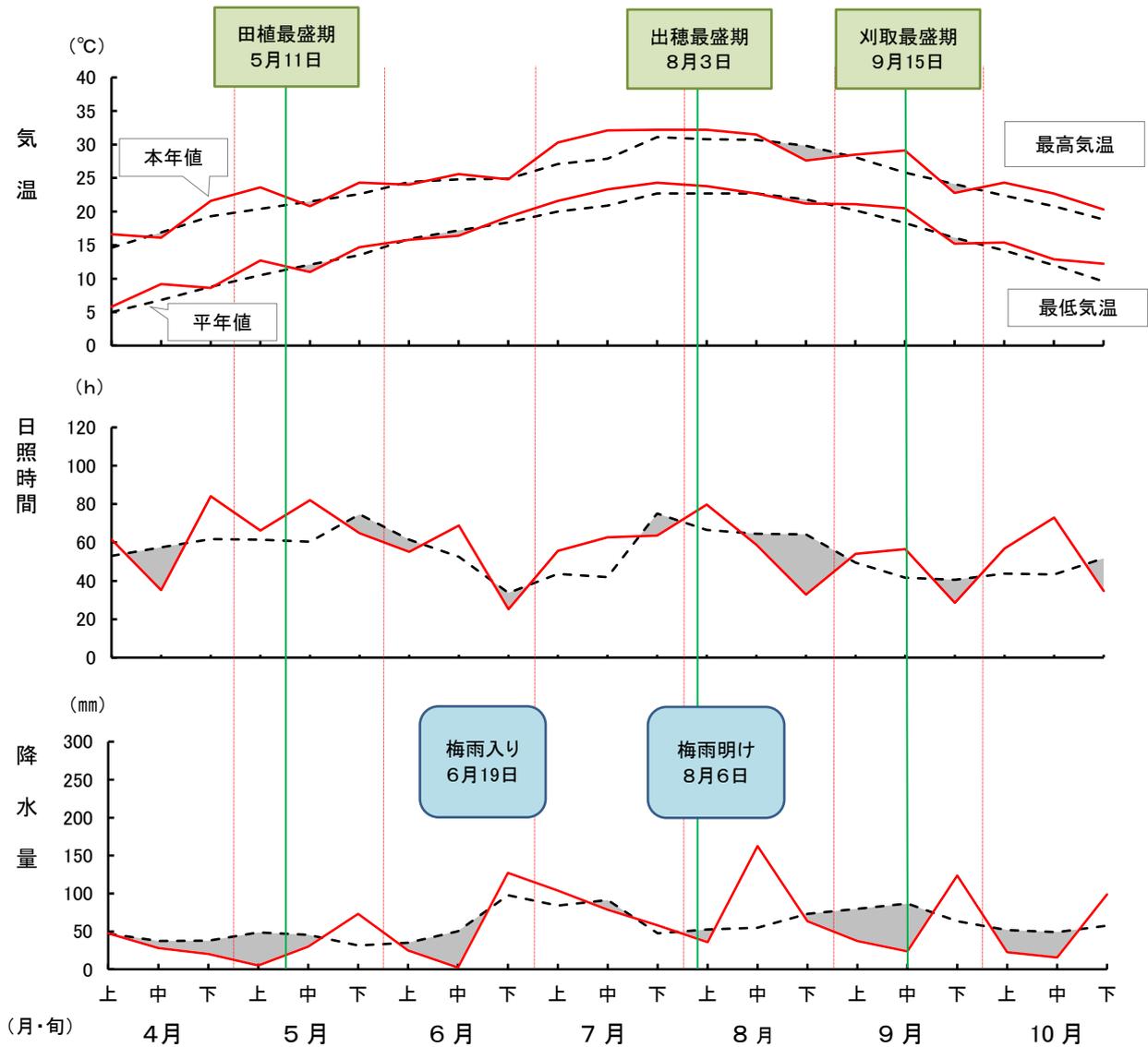
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	富山	40,600	521	211,500	14,508
	東部	21,100	524	110,600	
	西部	19,500	517	100,900	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		富山	平年並み	98	97
作況指数	東部	平年並み	98	98	98
	西部	平年並み	97	96	96

作柄概況	富山	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	多い	やや少ない	平年並み
穂数は疎植指導から植付株数の減少により少なく、1穂当たりもみ数は多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数97となった。					

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



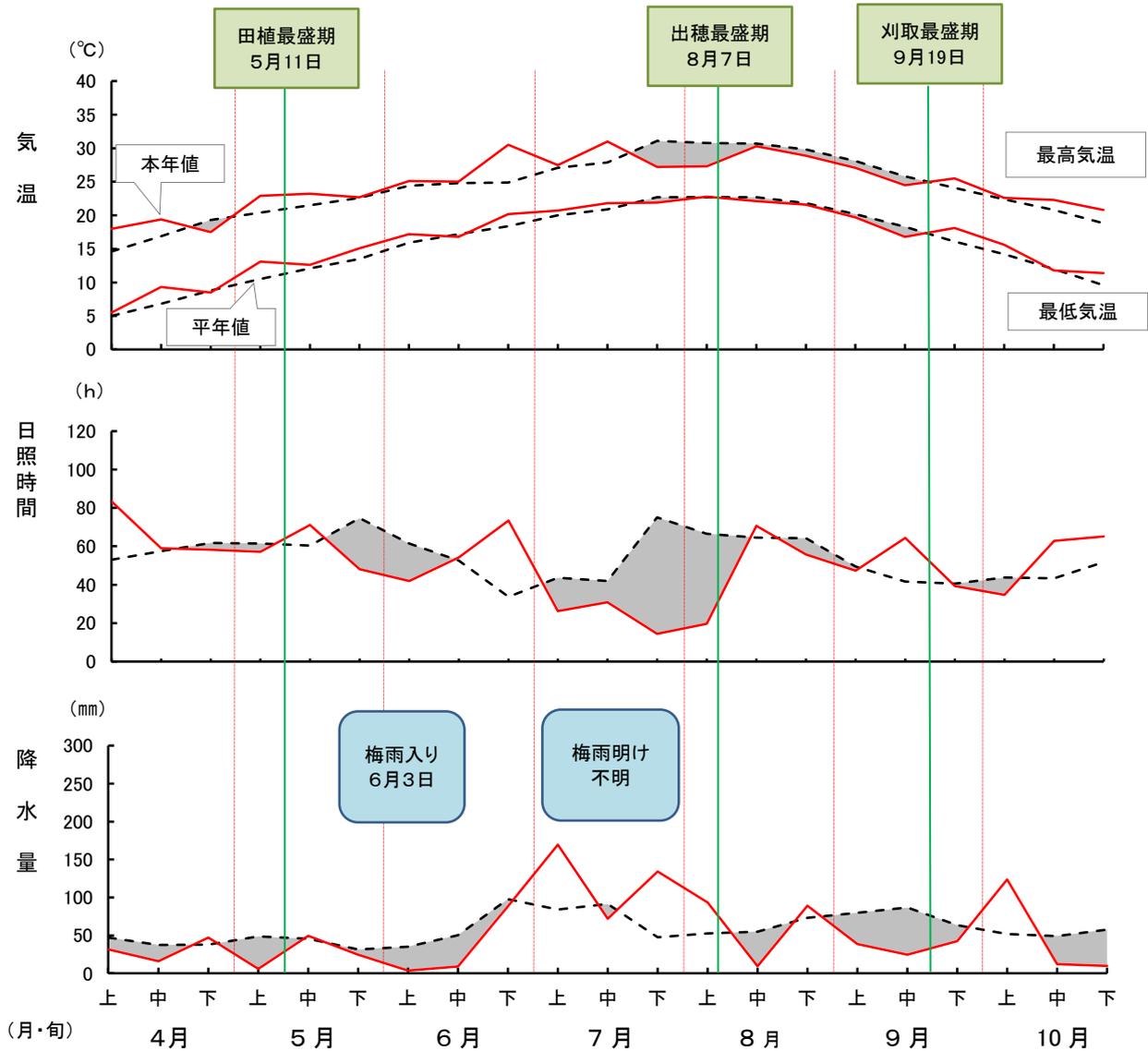
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	39,700	552	219,100	15,500
東部	20,600	550	113,200	
西部	19,100	555	105,900	

注: 富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	やや良	103	103
東部	やや良	103	103	103
西部	やや良	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	平年並み	やや多い	やや多い
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数が7月上・中旬の高温・多照によりやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



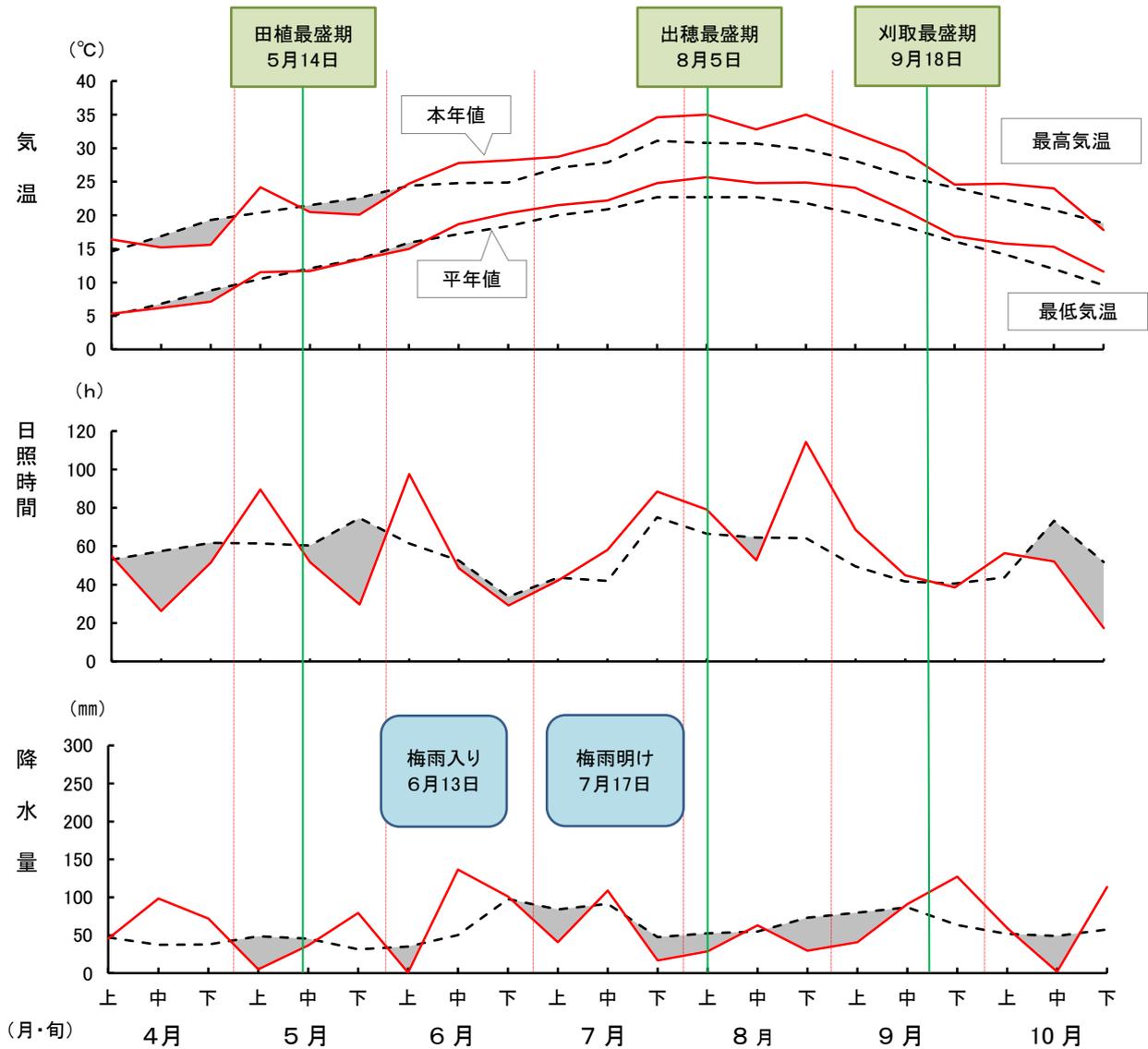
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	富山	39,500	537	212,100	15,000
	東部	20,500	536	109,900	
	西部	19,000	539	102,400	

注:富山コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		富山	やや不良	100	100
作況指数	東部	やや不良	100	100	100
	西部	やや不良	100	100	100

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		富山	やや少ない	多い	やや多い
穂数は5月下旬から6月上旬の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂期の低温・日照不足によりやや不良となり、作柄は作況指数100となった。					

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



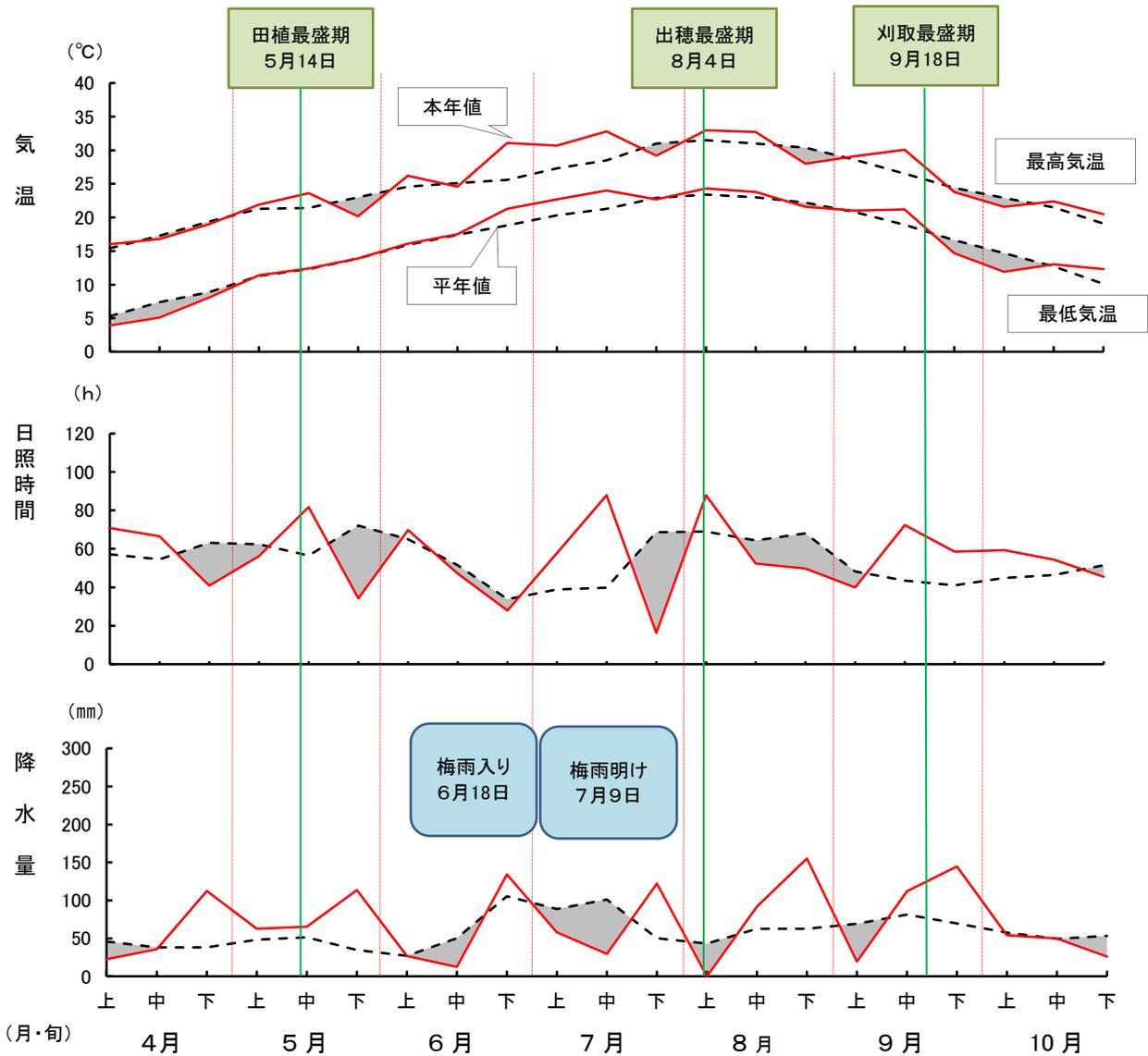
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	39,800	538	214,100	13,786
東部	20,700	532	110,100	
西部	19,100	545	104,100	

注:富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	やや良	101	101
東部	やや良	100	100	100
西部	やや良	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	少ない	多い	平年並み
穂数は田植後の低温・日照不足により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後がかなりの高夜温でやや不良となったものの、全もみ数が平年並みであったことから、作柄は作況指数101となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



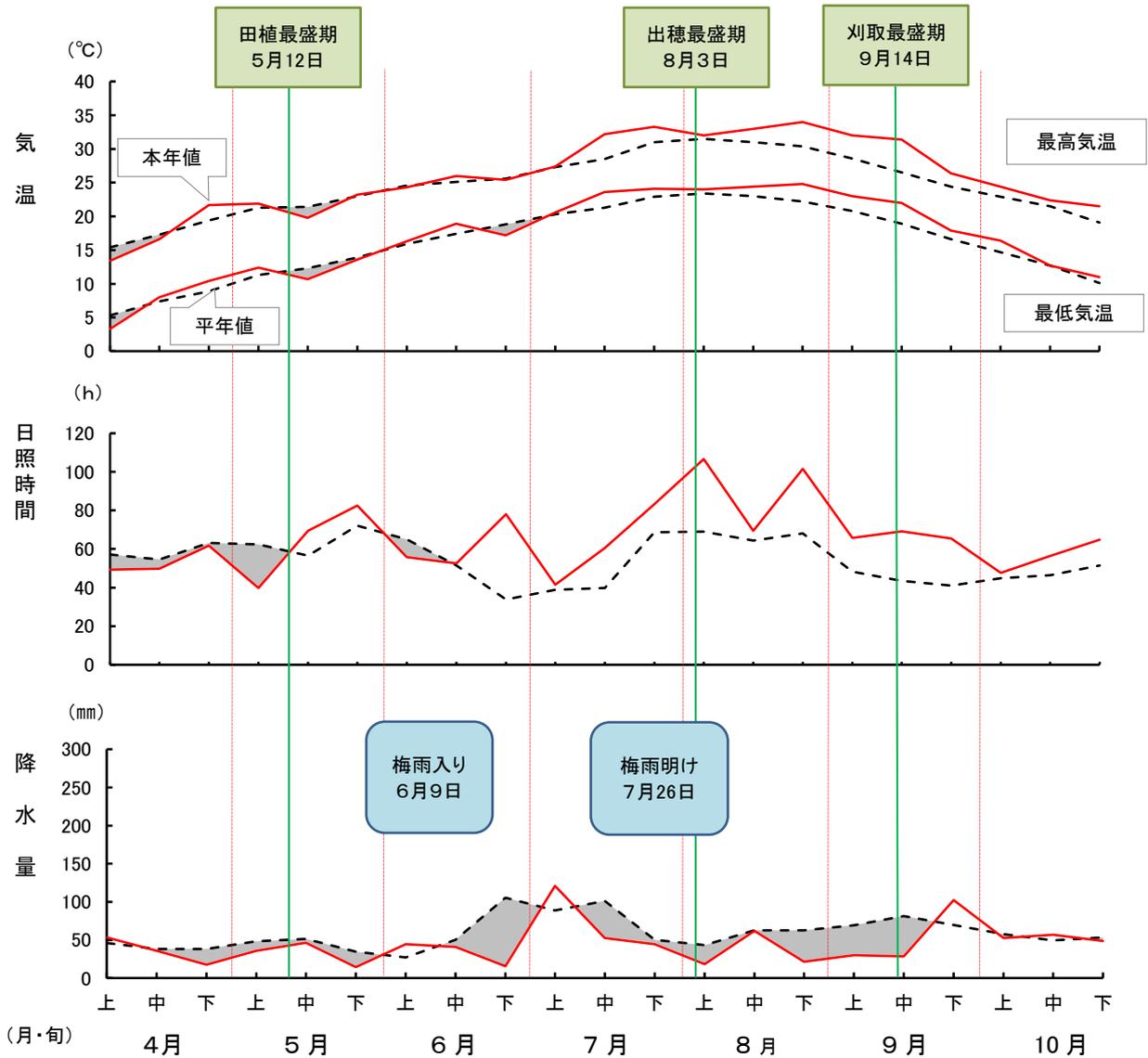
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	38,900	551	214,300	16,181
東部	20,300	550	111,700	
西部	18,600	553	102,900	

注:富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	富山	やや良	103	103
東部	やや良	103	103	103
西部	やや良	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	富山	やや少ない	多い	やや多い
穂数は5月下旬の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数は7月上・中旬の高温・多照により多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	39,000	536	209,000	16,882

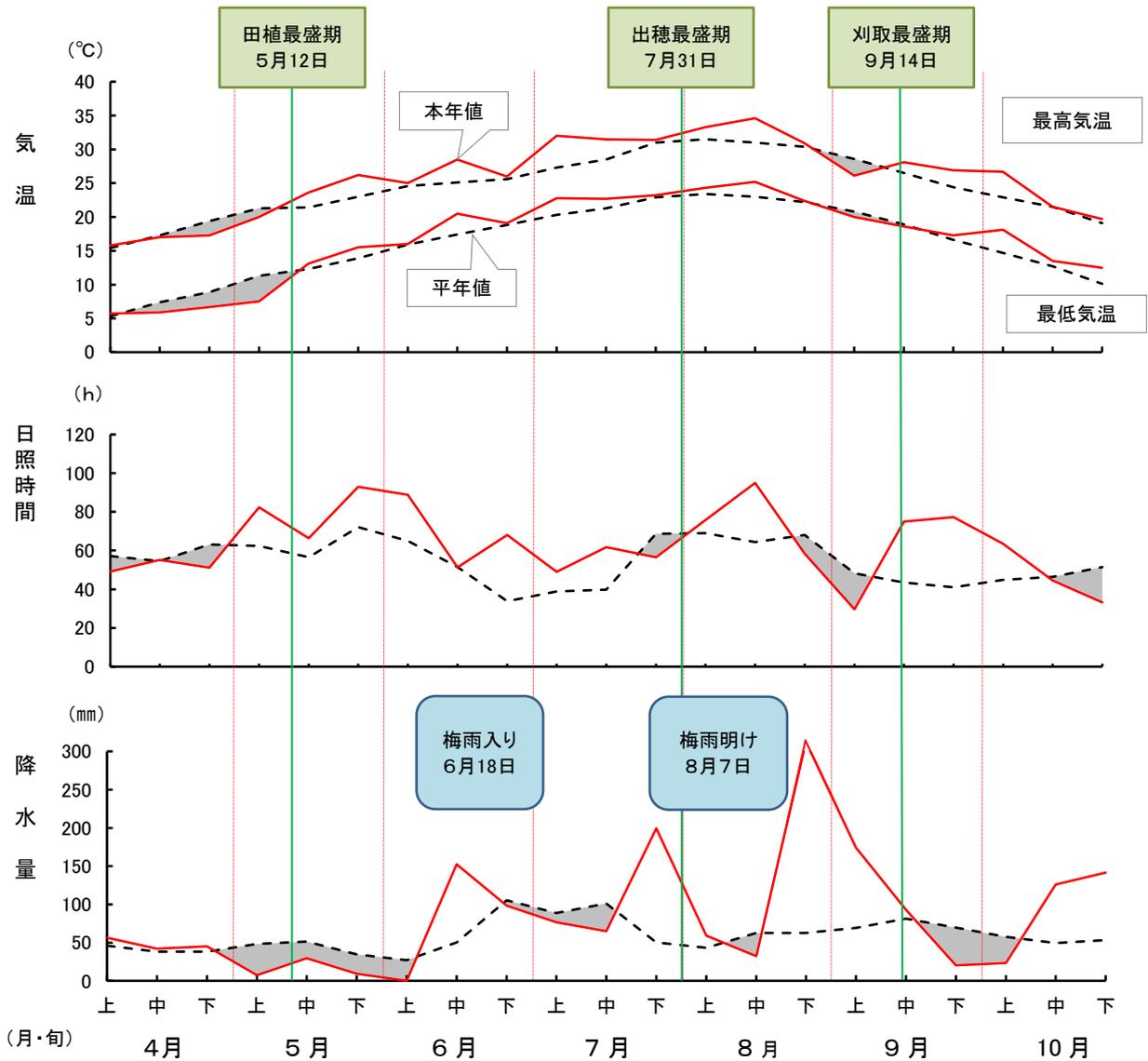
注: 1 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

2 平成24年産より水稲の作柄表示地帯の区域設定はなくなった。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良
	穂数は田植後の低温によりやや少なく、1穂当たりもみ数がやや少なくなったことから、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の高温・多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数100となった。			

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



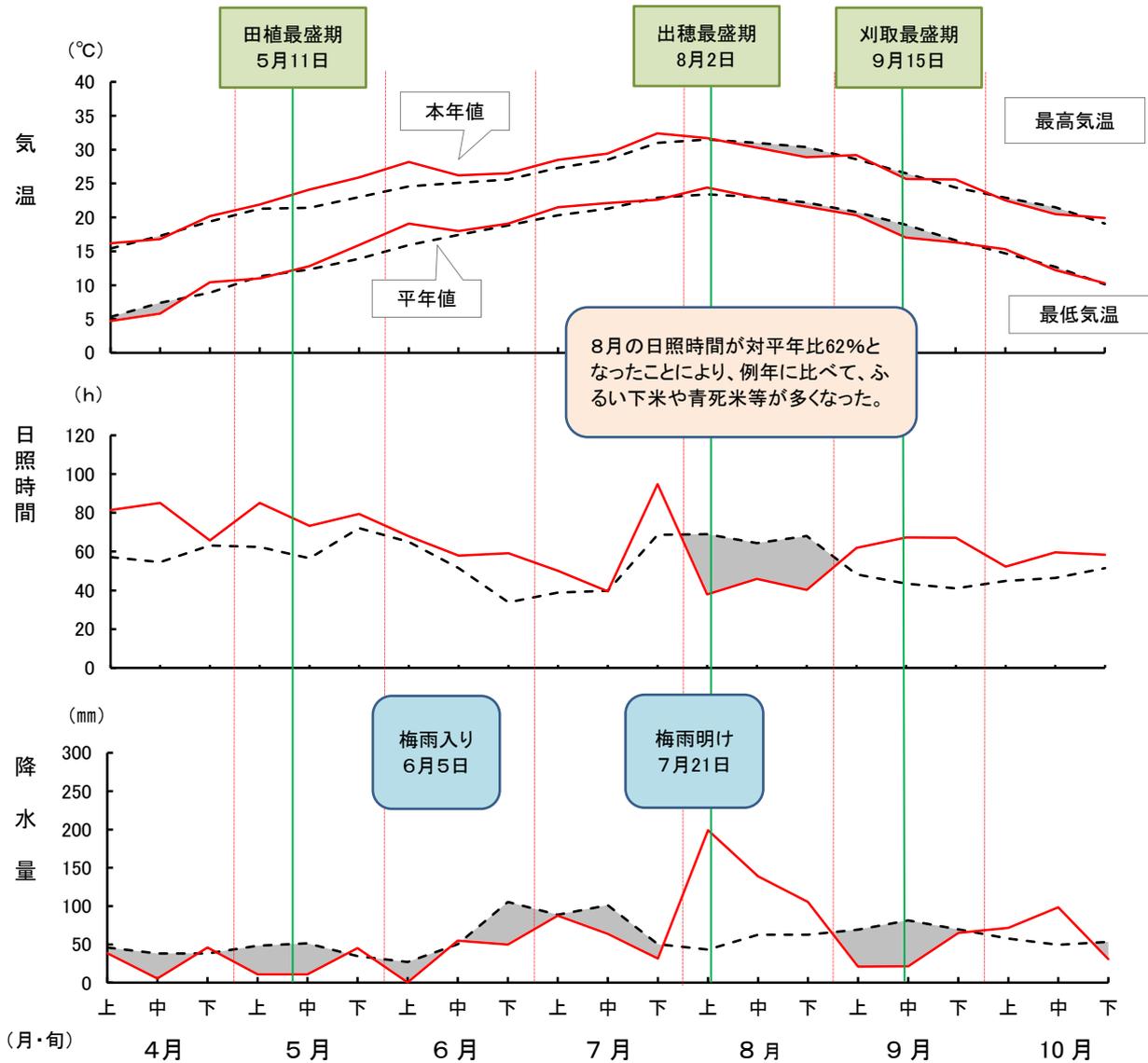
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
富山	39,700 ha	546 kg	216,800 t	14,706 円

注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	やや良	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
	穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の高温・多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数102となった。			

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



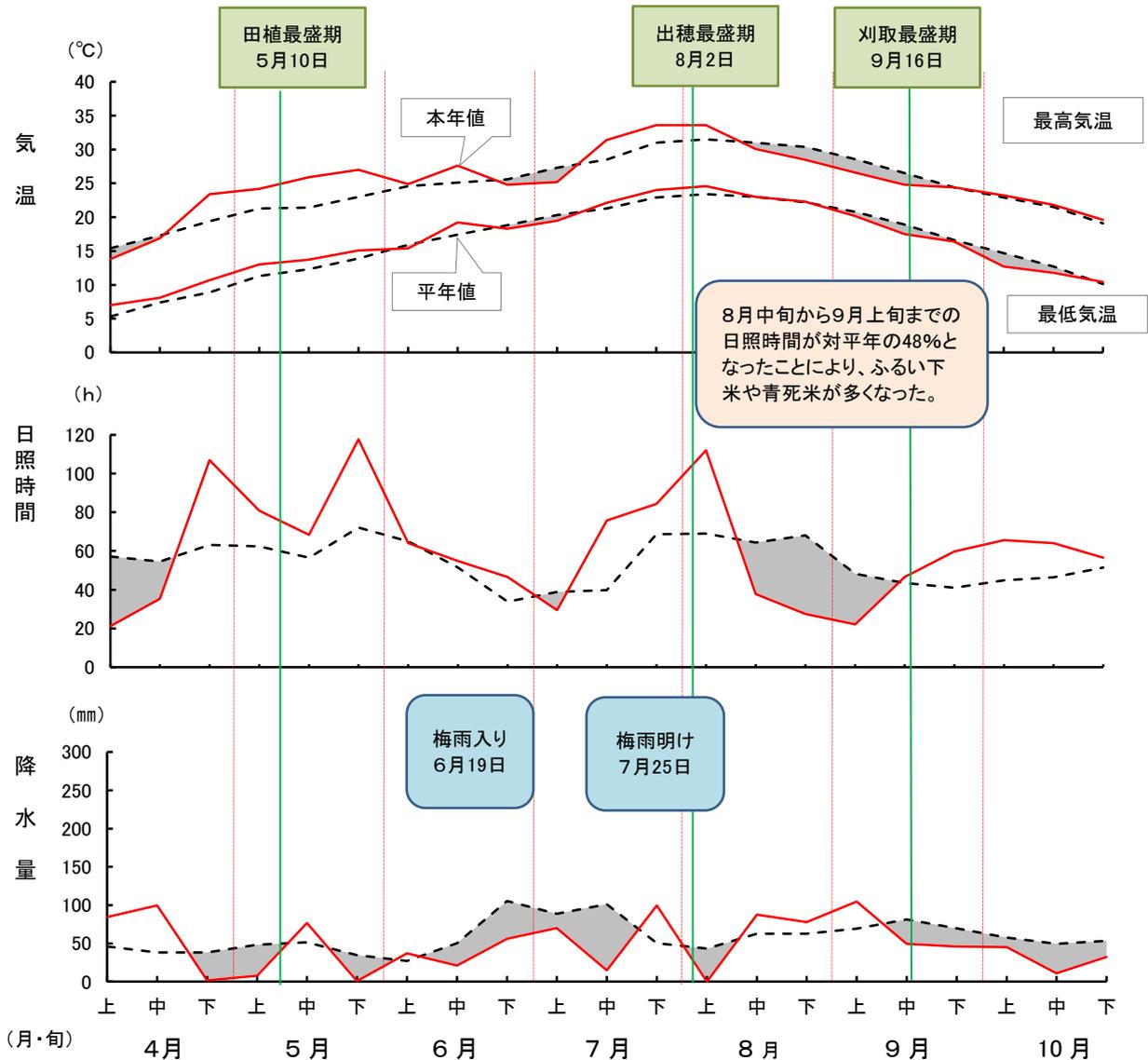
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ(60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	39,500	541	213,700	12,995

注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
	穂数はやや多くなり、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は8月の日照不足等からやや不良となったことから、作柄は作況指数101となった。			

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ(60kg当たり)単価
富山	39,600 ha	559 kg	215,800 t	14,228 円

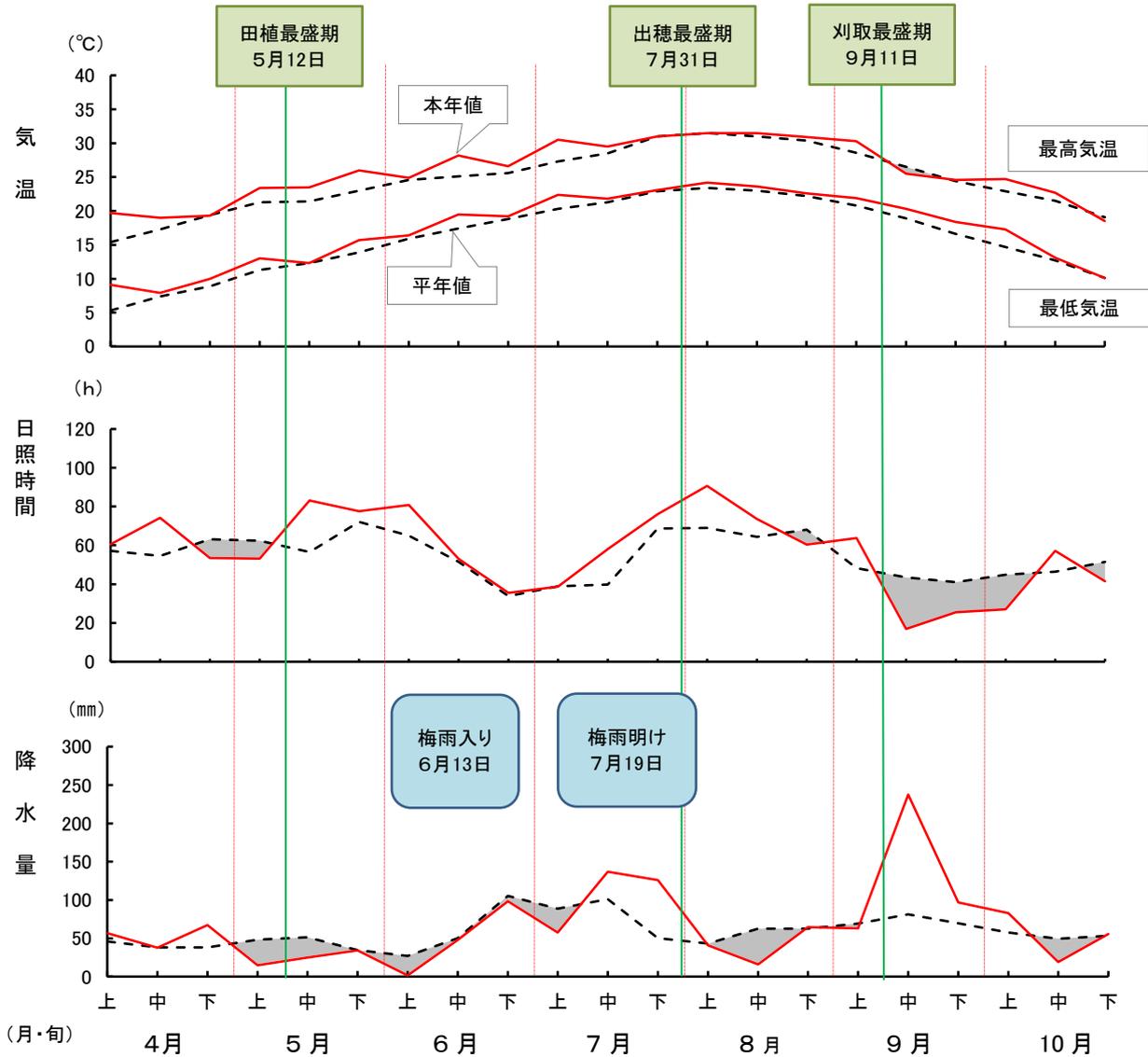
注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	やや良	103	103	103

注: 本年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。以降の年次も同様。

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
穂数は田植期以降、総じて高温・多照であったことから多くなった。1穂当たりもみ数は養分の競合が起こりやや少なかったものの、全もみ数はやや多くなった。 登熟は8月中旬から9月上旬までの日照不足等により子実の肥大・充実が緩慢になったことからやや不良となり、作柄は作況指数103となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



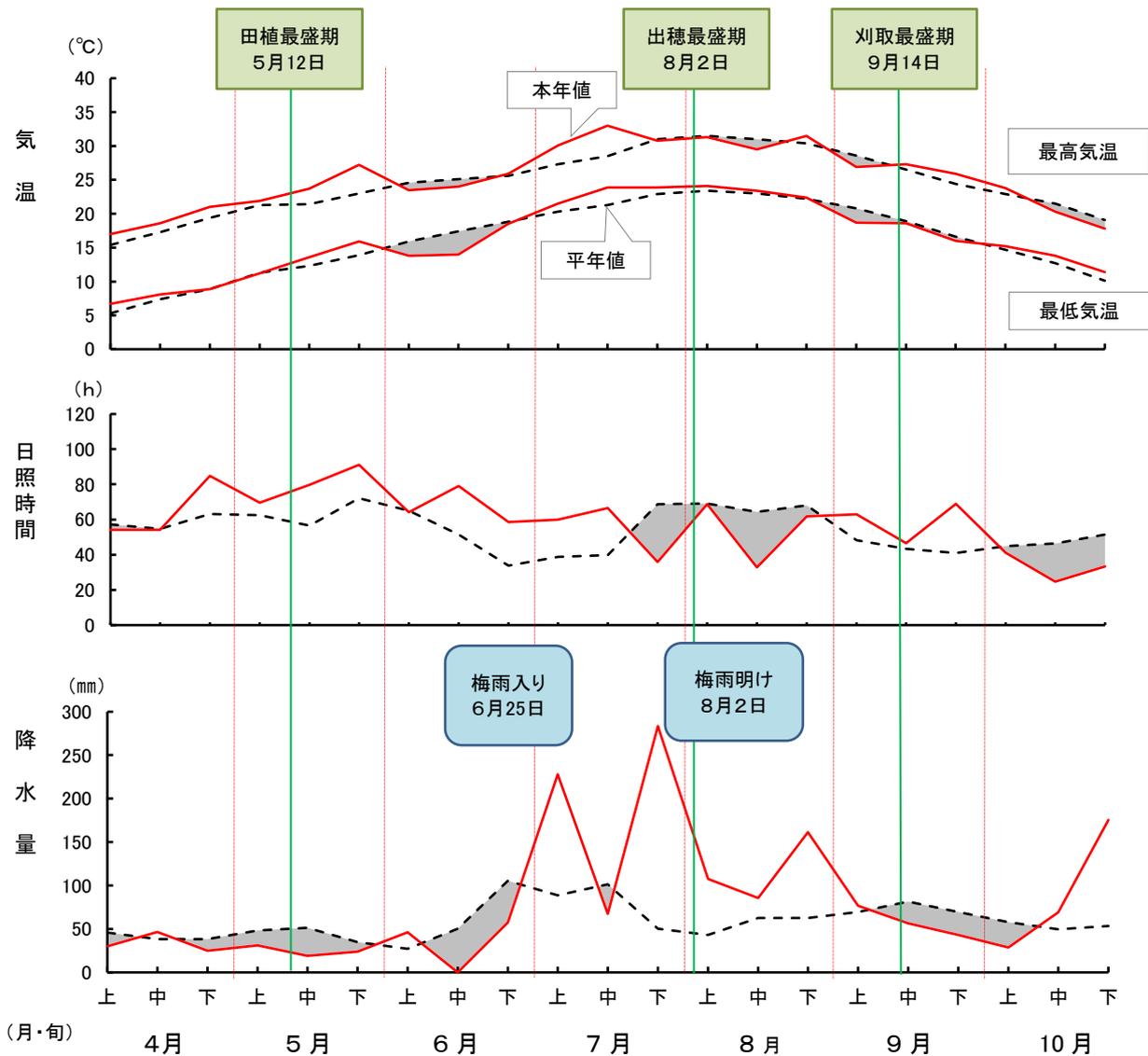
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	38,100	566	215,600	15,098

注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	やや良	106	106	106

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	多い	平年並み	多い	平年並み
穂数は田植期以降、総じて高温・多照であったことから多くなった。1穂当たりもみ数は穂数が多いことによる相反作用により平年並みとなったものの、全もみ数は多くなった。 登熟は出穂期以降も平年に比べ気温・日照時間ともおおむね上回って経過し、開花・受精及び子実の肥大・充実とも順調であったことから平年並みとなり、作柄は作況指数106となった。				

気象図 富山地方气象台(富山観測点)



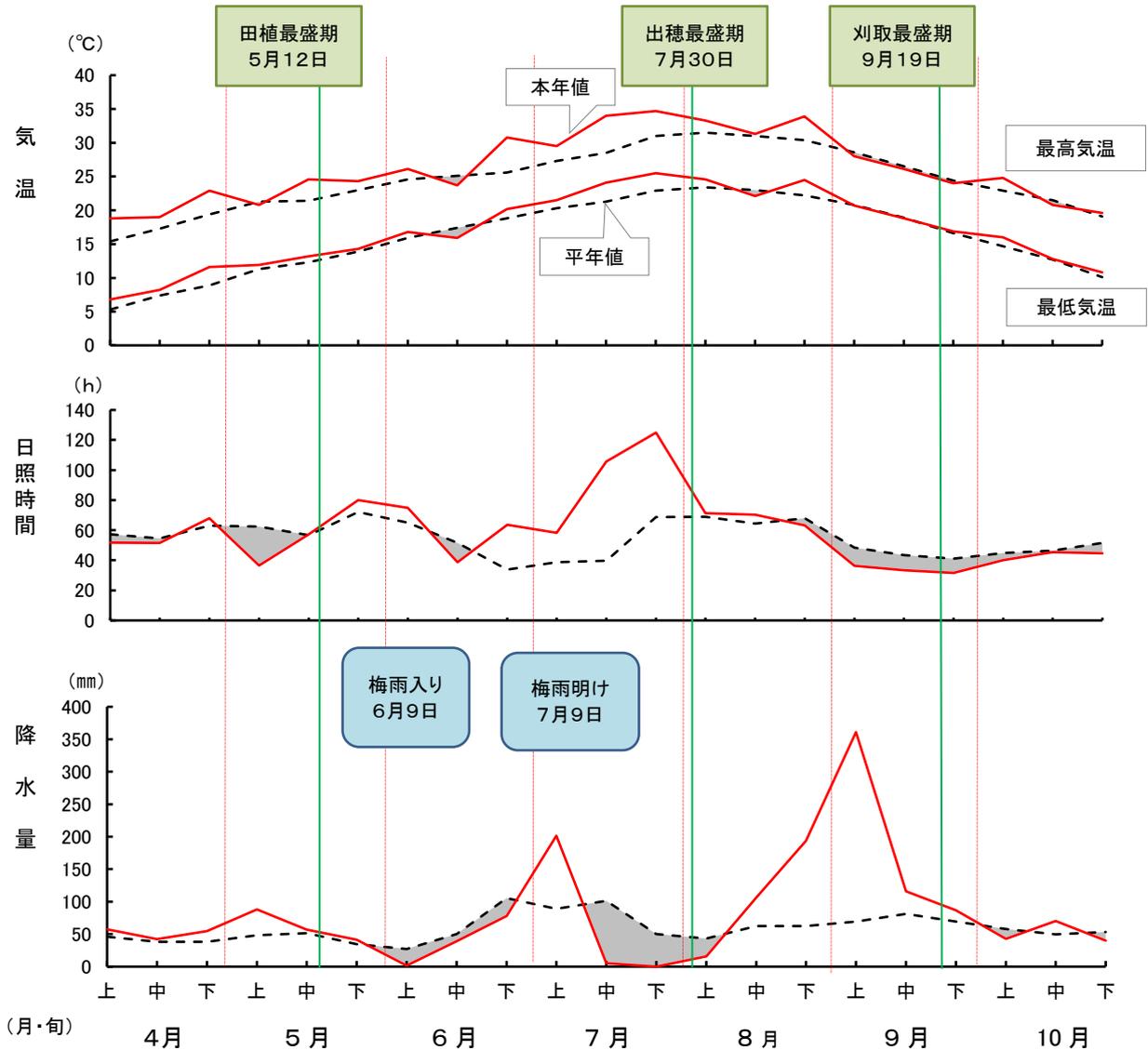
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ(60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	37,600	546	205,300	15,882

注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	101	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
穂数は田植期以降、概ね高温多照傾向で推移し分けつが旺盛になったことから多くなった。1穂当たりもみ数は穂数が多いことによる相反作用によりやや少なくなったものの、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂期以降、寡照傾向で推移し、全もみ数がやや多いこととの相反作用もあって、開花・受精及び子実の肥大・充実ともやや不良であったことからやや不良となり、作柄は作況指数100となった。				

気象図 富山地方気象台(富山観測点)



指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	富山コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
富山	37,300	552	205,900	15,936

注: 富山コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
富山	平年並み	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
富山	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
穂数は田植期以降、概ね高温多照で経過し分けつが旺盛であったことからやや多くなった。1穂当たりもみ数は、穂数が多いことによる相反作用であることから平年並みとなり、全もみ数はやや多くなった。 登熟は、8月下旬以降の日照不足の影響により抑制されたことからやや不良となり、作柄は作況指数102となった。				

3 農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数と作付面積規模別割合（富山県）

- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数は、平成17年～27年の間に45%減少しているものの、作付面積が5ha以上の農業経営体は76%増加しています。（図-1）
- 作付面積が5ha以上の農業経営体が占める割合は増加しています。平成27年では7.6%を占めており、全国平均を3.0ポイント上回っています。（図-2）
- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合をみると、平成17年は5ha以上階層が27.3%であったものが、27年では56.6%となっています。特に15ha以上階層の伸びが大きく、2.4倍となっています。（図-3）

図-1 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数の推移（富山県）

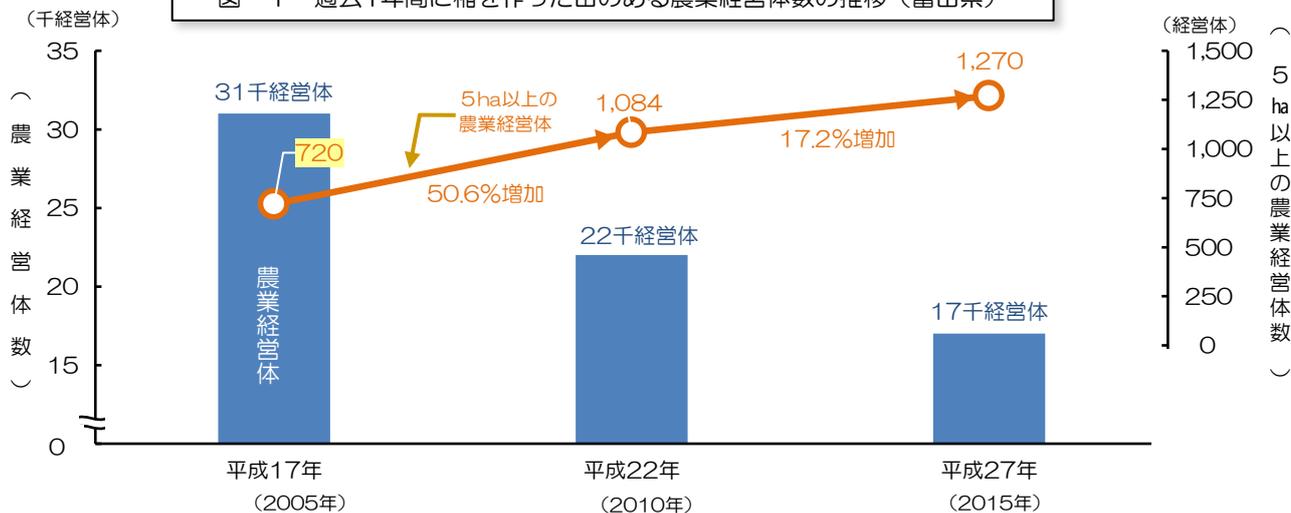


図-2 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体のうち作付面積が5ha以上の経営体の割合（富山県）

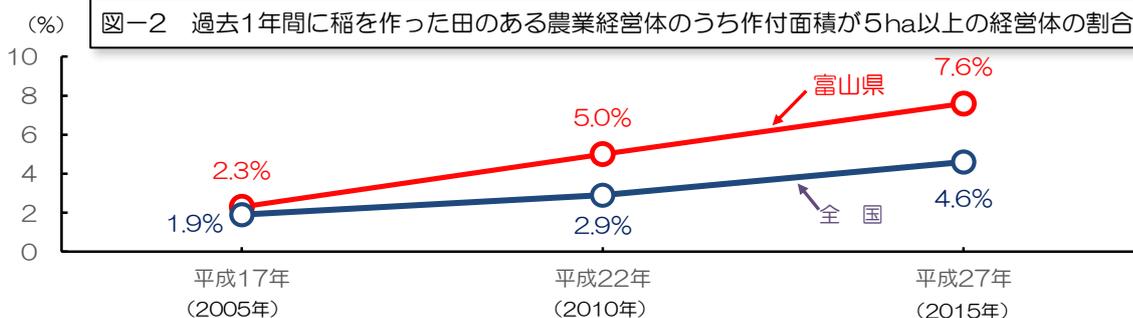
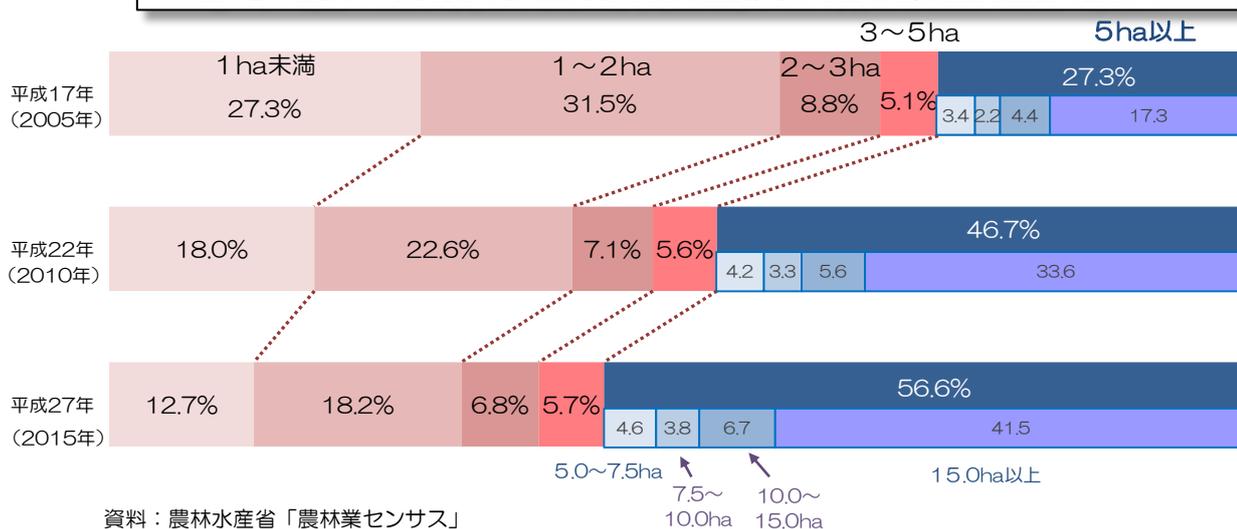


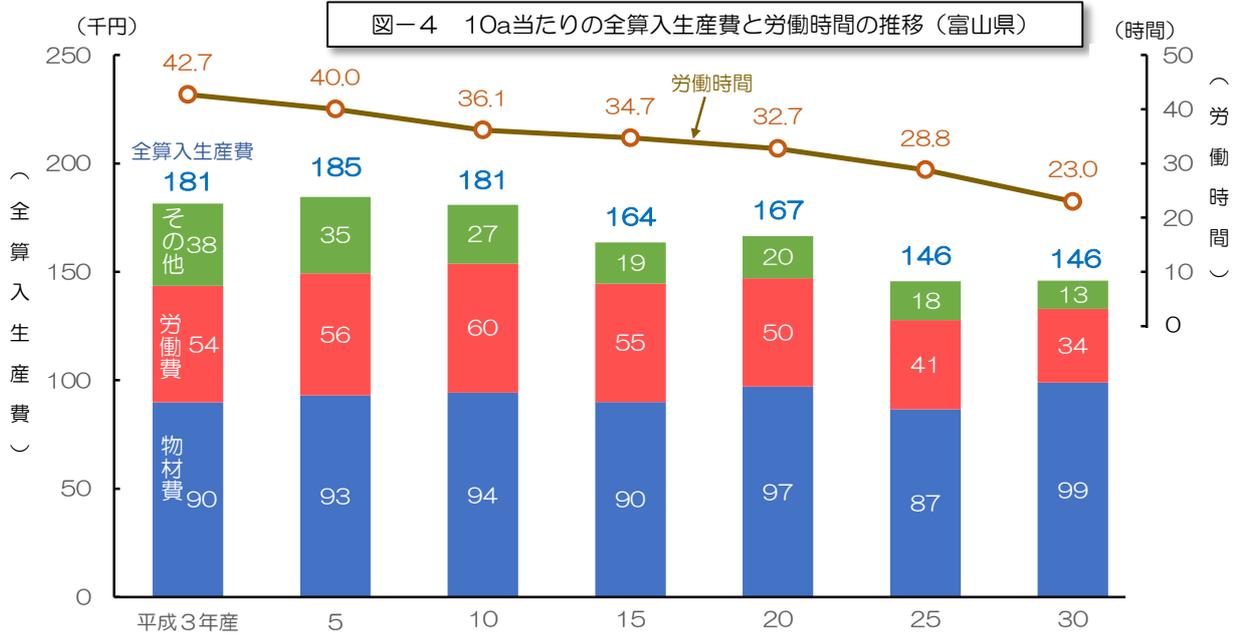
図-3 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合（富山県）



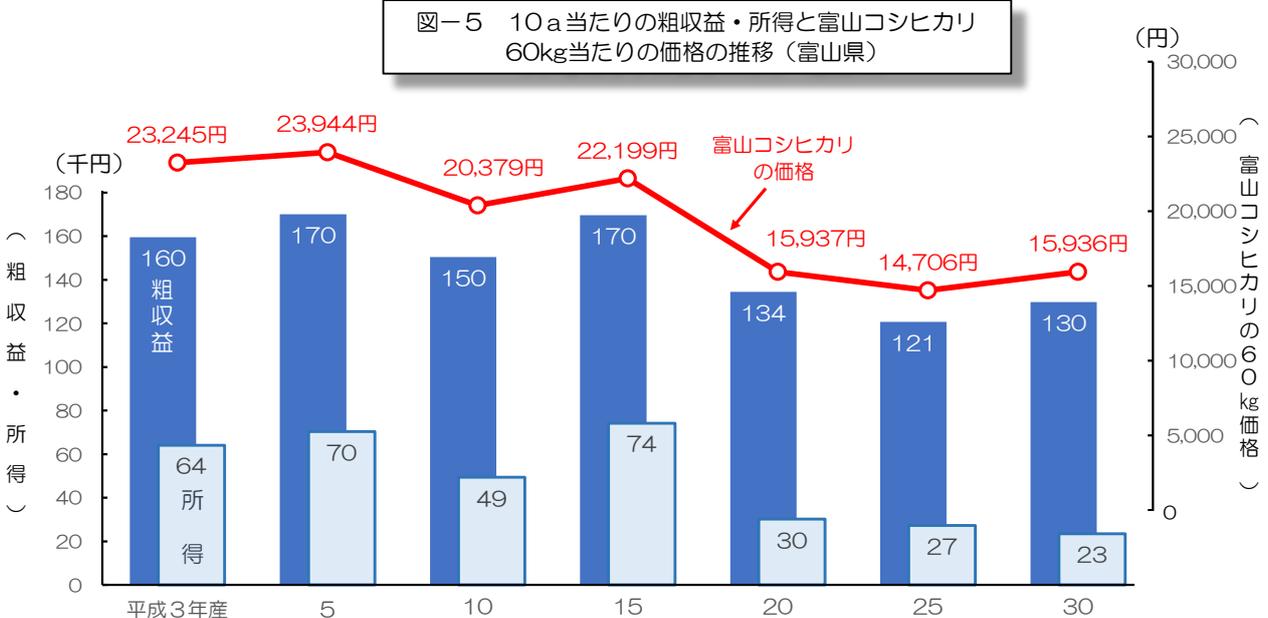
資料：農林水産省「農林業センサス」

4-1 米の経済状況（生産コストと収益）の推移（富山県）

- 米の生産コストである全算入生産費は、平成30年産は14万6千円と、最も高かった5年産の18万5千円から、2割程度減少しています。特に労働費は、効率化が進み労働時間が減少していることから、5年産に比べ39%減少しています。（図-4）
- 粗収益は、平成30年産は13万円と、最も高かった平成5年産の17万円から24%減少しています。同様に富山コシヒカリの価格を平成30年産と5年産で比較すると33%低下しています。（図-5）
- 所得は、平成30年産は2万3千円と、5年産と比較すると約7割程度減少し、収益性は低下しています。（図-5）



資料：農林水産省「農産物生産費統計」

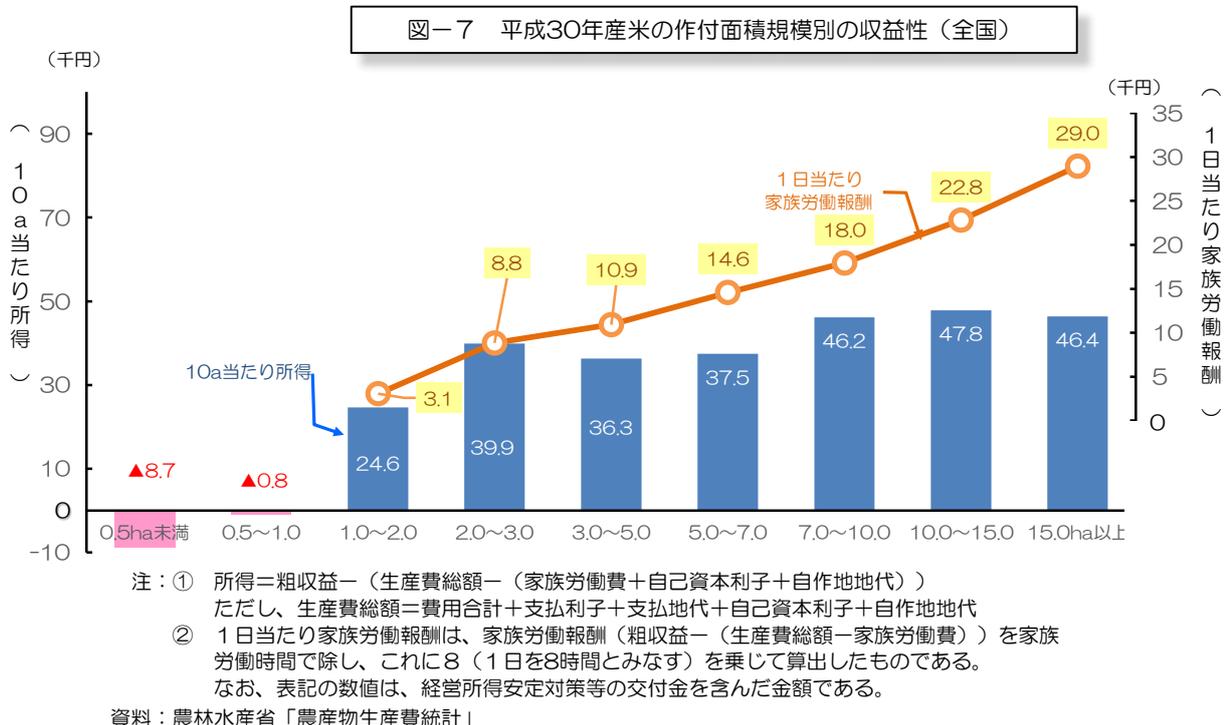
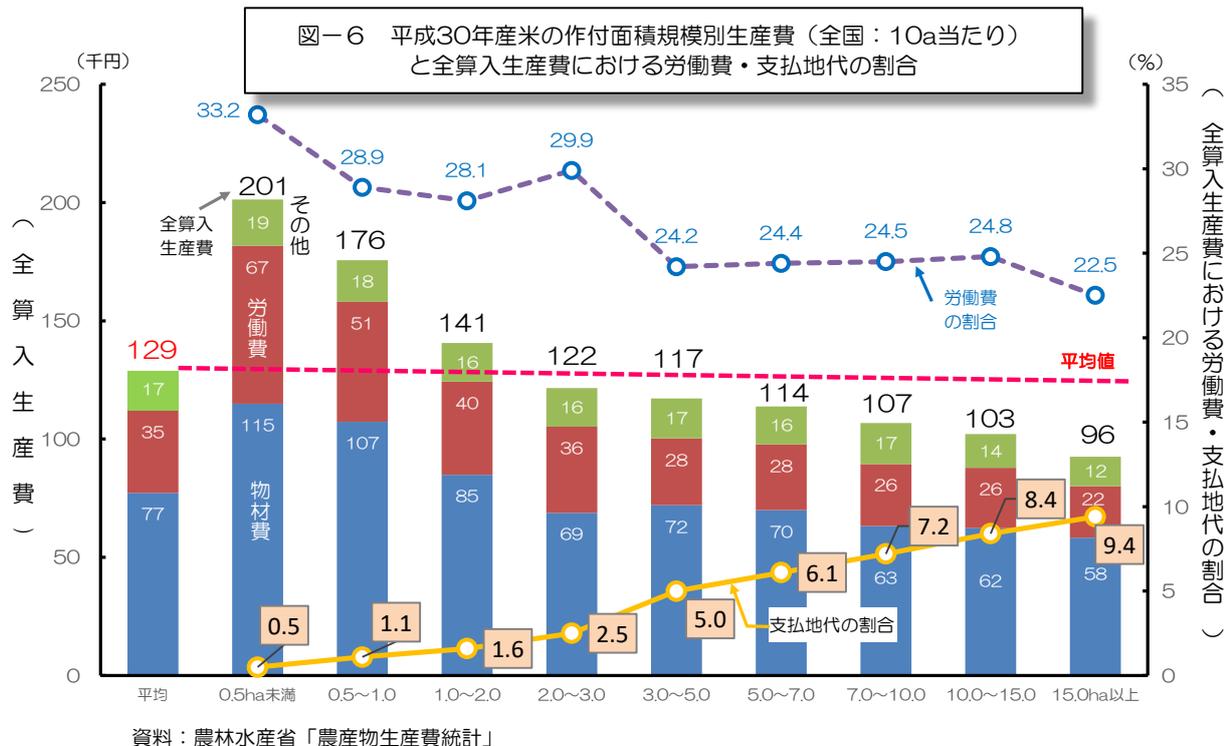


- 注：① 所得＝粗収益－（生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地代））
 ただし、生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地代
 ② 価格は、富山コシヒカリである。

資料：農林水産省「農産物生産費統計」
 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

4-2 米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益）の比較（全国）

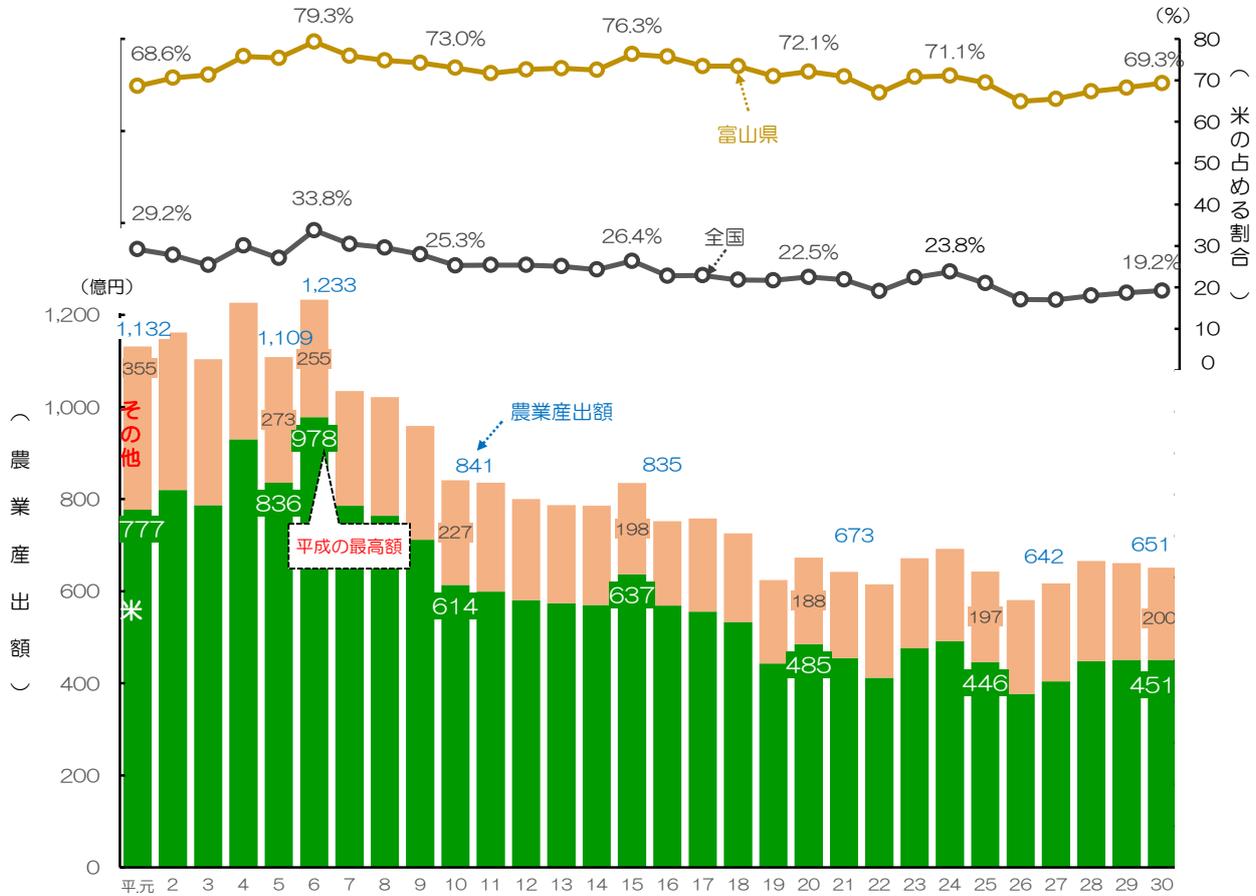
- 全算入生産費を作付面積規模別にみると、規模が大きくなるに従い生産費は減少しており2ha以上の階層においては、生産費は平均を下回っています。（図-6）
- 作付面積規模が大きくなるに従い、支払地代の割合は増加し、3ha以上の階層で大きくなっています。労働費の割合は、3ha未満の階層では30%前後、3ha～15haの階層では24%台、15ha以上の階層では、22%台と小規模階層から大規模階層になるに従い占める割合は小さくなっています。
全算入生産費における労働費と支払地代の割合の合計は、作付面積規模別の各階層において全算入生産費のほぼ3割程度を占めています。（図-6）
- 10a当たりの所得と1日当たりの家族労働報酬は、作付面積規模が拡大するに従い増加しており、規模の大きな階層ほど収益性が向上する傾向にあります。（図-7）



5 米の産出額の推移（富山県）

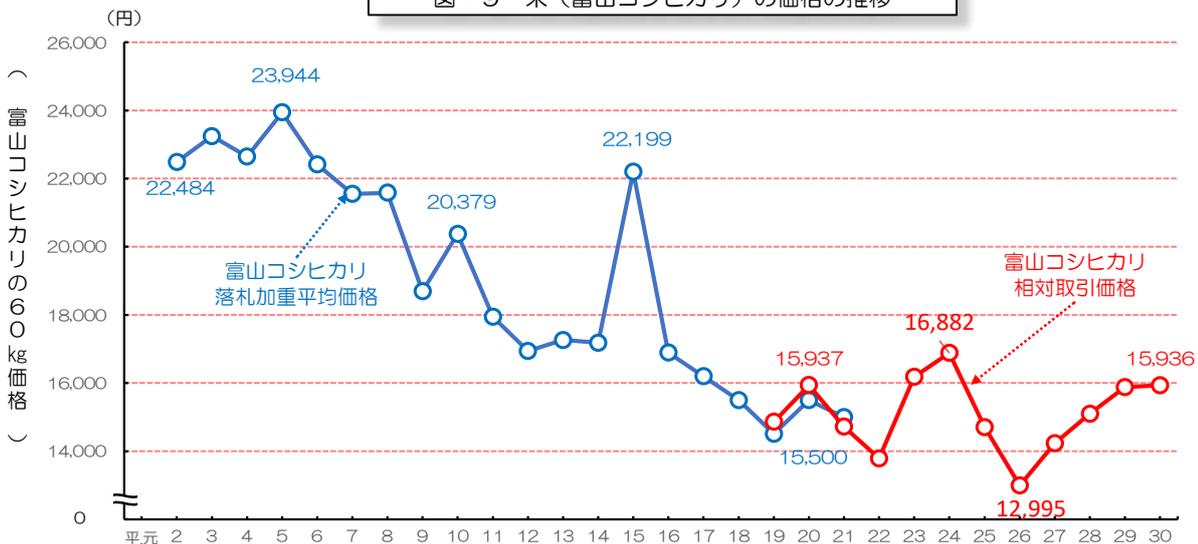
- 平成30年米の産出額は451億円となり、平成の最高額である平成6年の978億円と比較すると、54%の減少となっています。（図－8）
- 農業産出額に占める米の割合は、平成2年以降24年までは7割を維持していましたが、平成30年では69.3%となっています。（図－8、図－9）
- 富山県における農業産出額に占める米の割合は、全国平均に比べ5割程度高く推移しています。（図－8）

図－8 農業産出額の推移（富山県）と農業産出額に占める米の割合（全国・富山県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－9 米（富山コシヒカリ）の価格の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

